

令和 3 年度南会津地域観光客動向調査
実施結果

令和 4 年 2 月

福島県南会津地方振興局

(委託先：株式会社フルタイム)

目次

1. 調査概要
2. 宿泊施設での留置調査
 - (ア)回答者の属性
 - ① 性別×職業
 - ② 回答者の年齢層
 - (イ)回答者の来訪・滞在実績
 - ① 回答者の交通手段
 - ② 年代別同行者
 - ③ 滞在日数
 - (ウ)回答者の意向
 - ① 来訪理由
 - ② 観光理由
 - (エ)訪問場所
 - (オ)認知経路
 - ① 南会津来訪を決めた情報源
 - (カ)満足度
 - ① 南会津滞在の満足度
 - ② 再来訪意欲
 - (キ)回答者の嗜好
 - ① 観光先を選ぶポイント
 - ② 観光に求めるもの
 - (ク)森林資源に関して
 - ① 森林資源を活用した観光商品の利用意向度
 - ② 利用したい森林資源を活用した観光商品
3. 観光施設での対面調査
 - (ア)南会津を訪れた理由、観光先として選んだ理由（自由回答）
 - (イ)南会津にまた来たいと思う理由（自由回答）
 - (ウ)実施エリア別属性情報
 - ① 性別別回答者割合
 - ② 年代別回答者割合（全体）
 - ③ 年代別回答者割合（男性）
 - ④ 年代別回答者割合（女性）
 - (エ)訪問場所
4. 考察
5. 来年度に向けた改善事項（報告会の意見を経て）

1. 調査概要

当調査は南会津地域（南会津郡4町村）の観光客入込数の減少に対する対策を検討するためのものであり、旅行の「個別化」「多様化」が一層進展する中、観光消費を喚起する南会津ならではの旅行商品の開発や効果的なプロモーション方法など、南会津地域における効果的な観光施策を検討するための基礎的データを得ることが目的である。

具体的な調査方法として、（ア）施設の利用動向調査、（イ）宿泊施設での留置調査、（ウ）観光施設での対面調査の3部から構成されている。

（ア）施設の利用動向調査

宿泊施設 159 箇所、物販施設 10 箇所、観光施設 17 箇所を対象に、利用人数や属性、利用金額などのアンケートを行った。

（イ）宿泊施設での留置調査

宿泊施設 159 箇所にアンケートの留置を依頼し、宿泊者に該当のアンケートを通じて、属性、訪問目的、訪問場所、来訪回数、観光消費額等の実態を回答してもらった。

（ウ）観光施設での対面調査

4 箇所の観光地点に調査員を派遣し、観光客に直接ヒアリングの実施を行った。調査内容に関しては、属性、訪問目的、訪問場所、来訪回数、観光消費額等の実態を回答してもらった。

※ （ア）施設の利用動向調査に関しては、回答数が少なく本報告書には記載なし（（イ）、（ウ）を中心に記載）。

※ また、（ウ）観光施設での対面調査での回答の傾向が、（イ）宿泊施設での留置調査と似ており、本報告書には自由回答部分のみを記載。主に（イ）宿泊施設での留置調査の結果をベースに要点をまとめた。

○ 調査期間

令和3年10月～12月

○ 各アンケート調査票

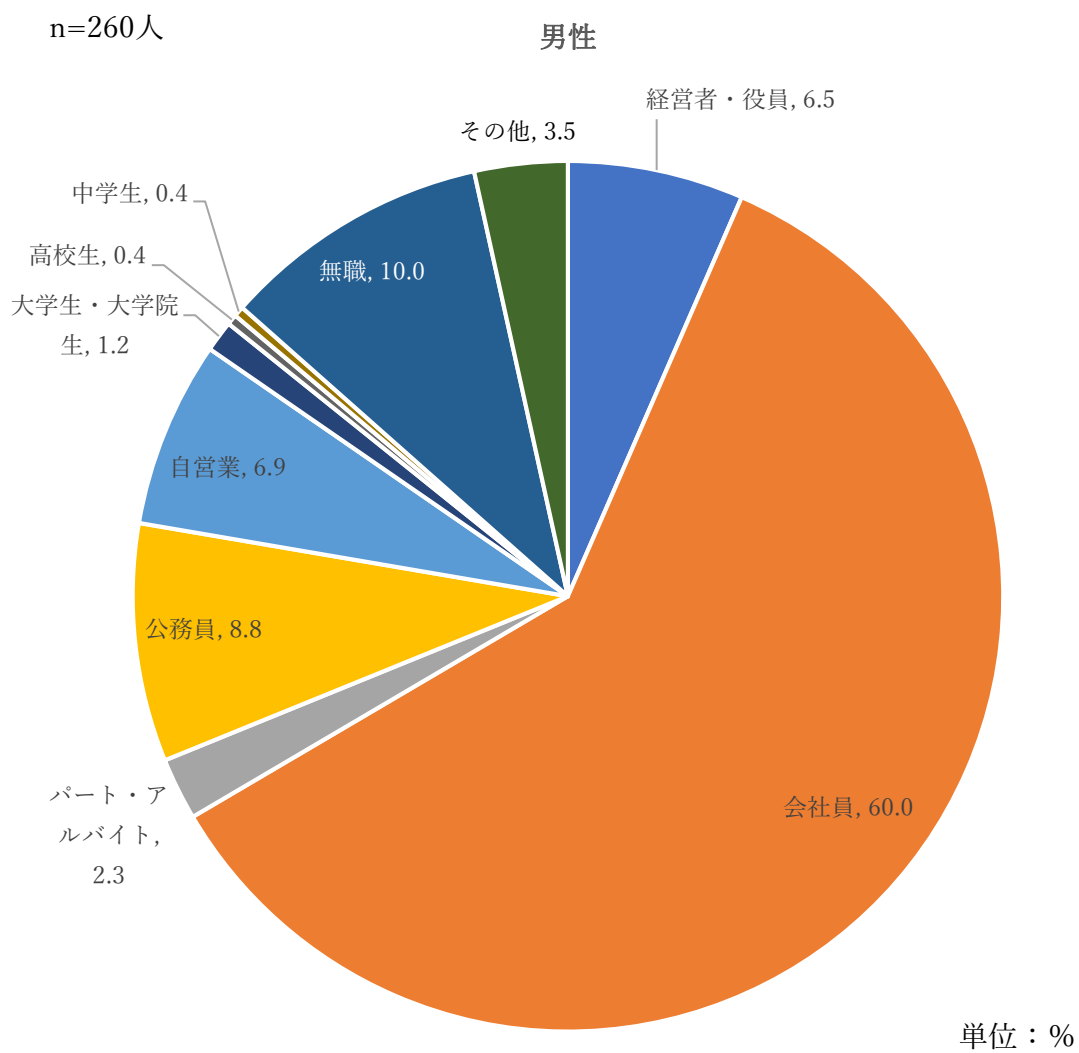
別添「資料3」参照

2. 宿泊施設での留置調査

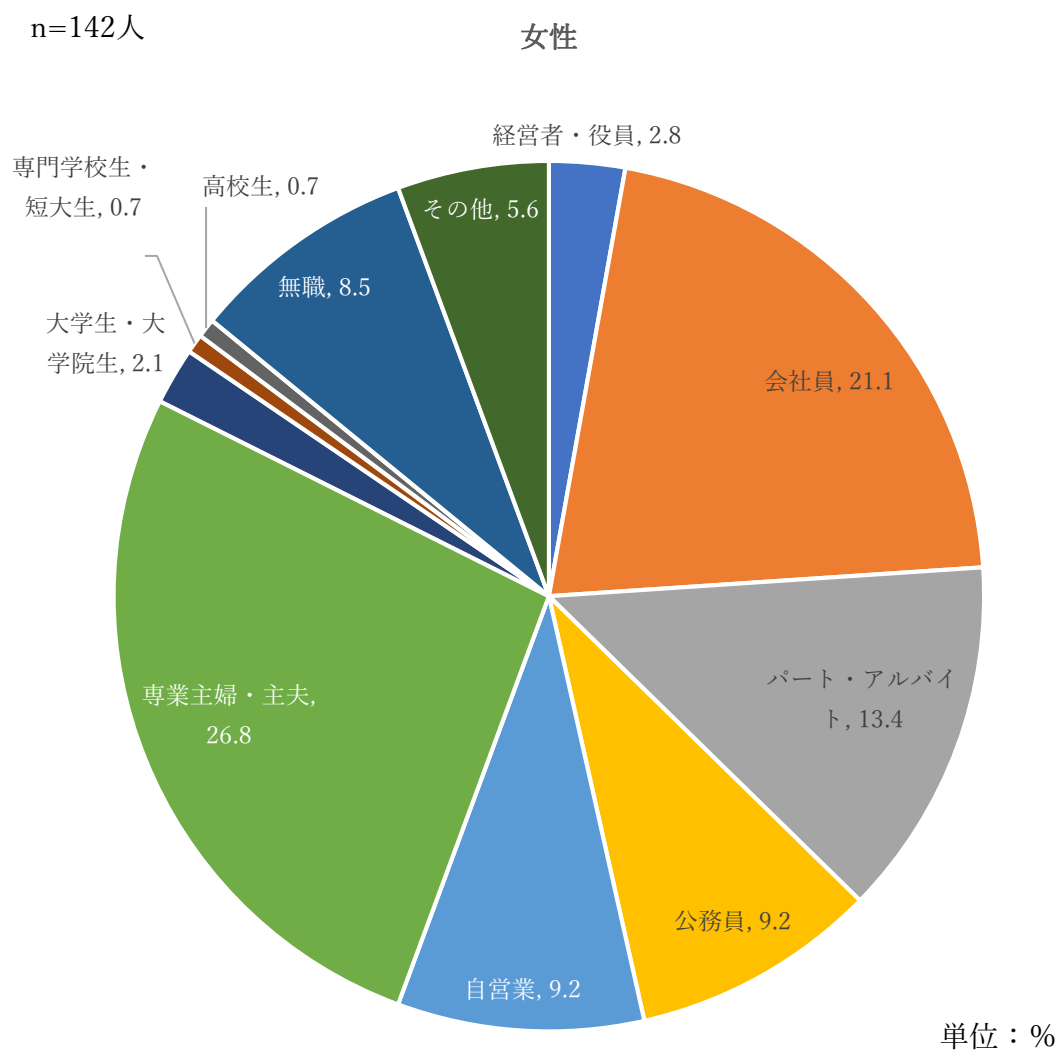
(ア) 回答者の属性

① 性別×職業

男性における職業で一番多いのは会社員で 60%となっている。専業主夫、専門学生・短大生という回答はゼロだった。



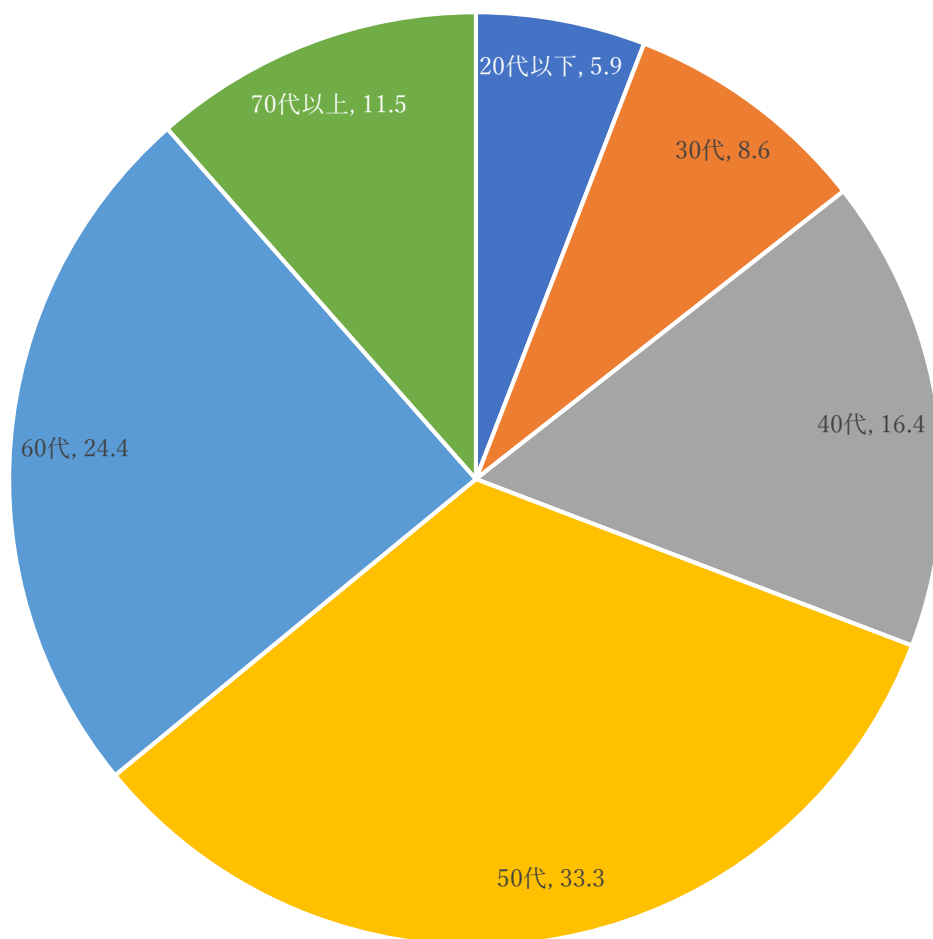
女性における職業で一番多いのは専業主婦で 26.8%となっている。その他で男性の回答者と異なっている点は、パート・アルバイトの割合が多く 13.4%となっている点や、自営業も男性より高い割合の 9.2%という結果になっている。



② 回答者の年齢層

回答者の年齢層においては、50代が一番多く 33.3%となっている。次いで 60代が 24.4%、40代が 16.4%という結果になった。

n=409人

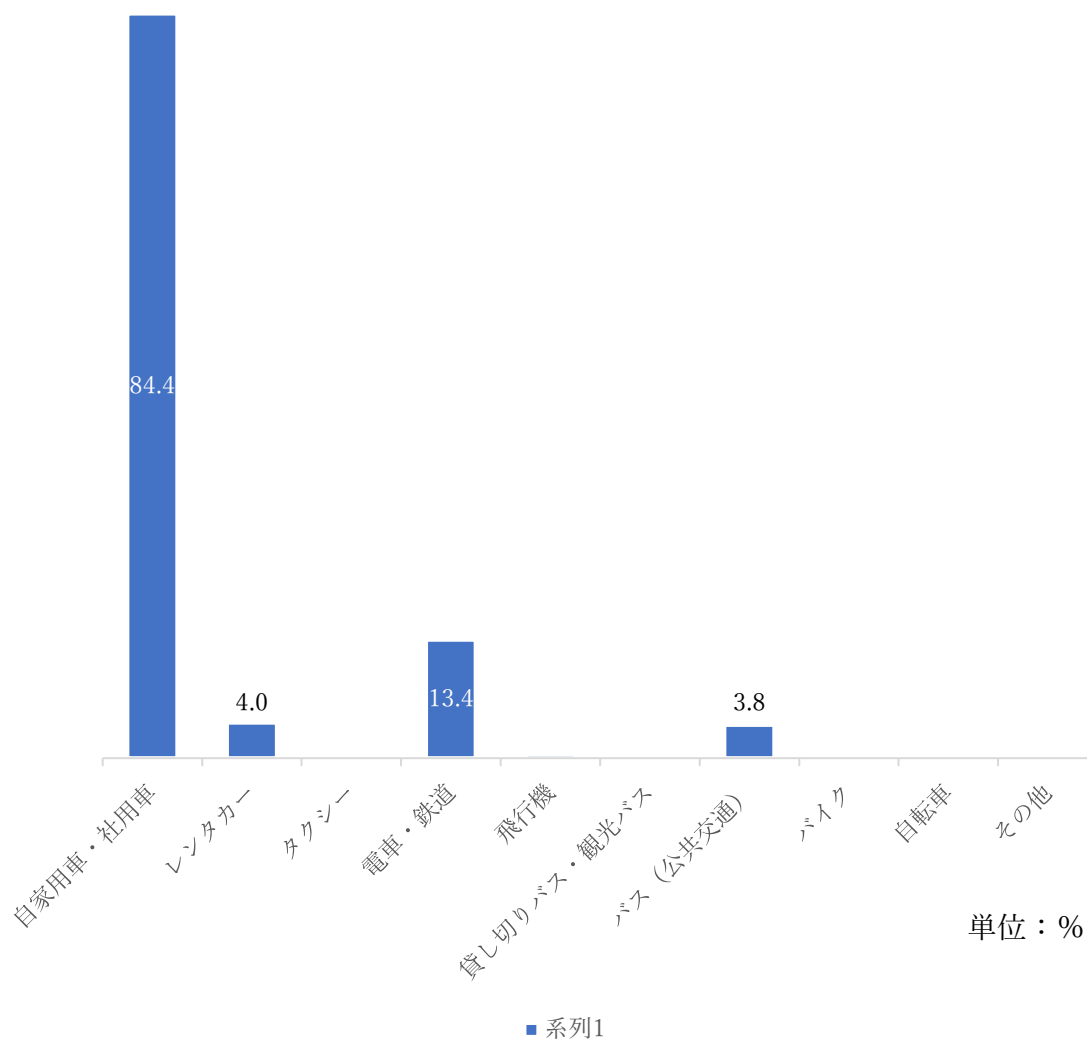


単位：%

(イ) 回答者の来訪・滞在実績

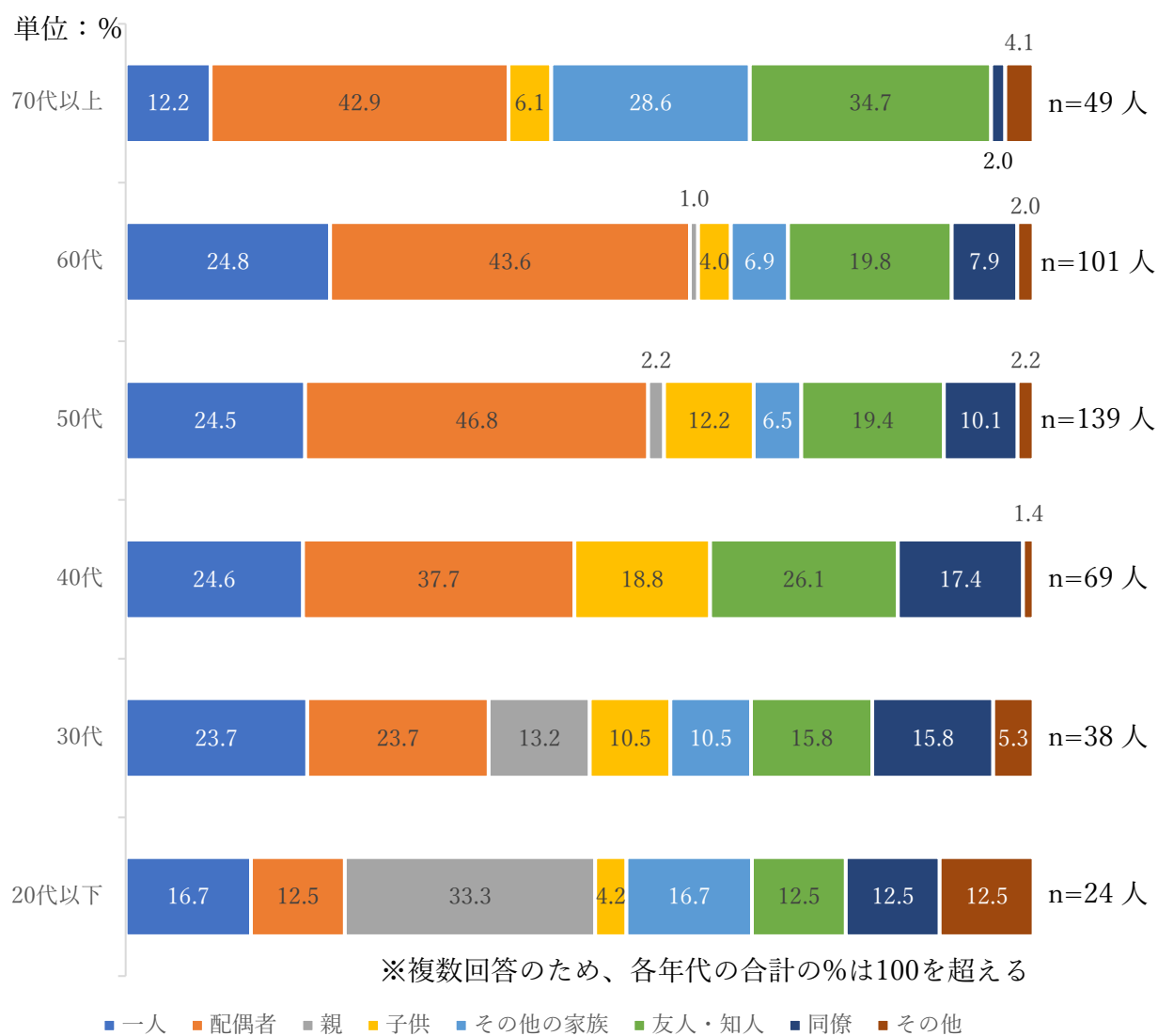
① 回答者の交通手段

交通手段においてメインとなるのは自家用車・社用車の84.4%となっている。
また、性別によって移動手段の差に大きな違いは見られなかったが、年代別に見ると、若い年代になるにつれレンタカーの割合と、電車や飛行機などの交通手段の割合が増える傾向にあった。



② 年代別同行者

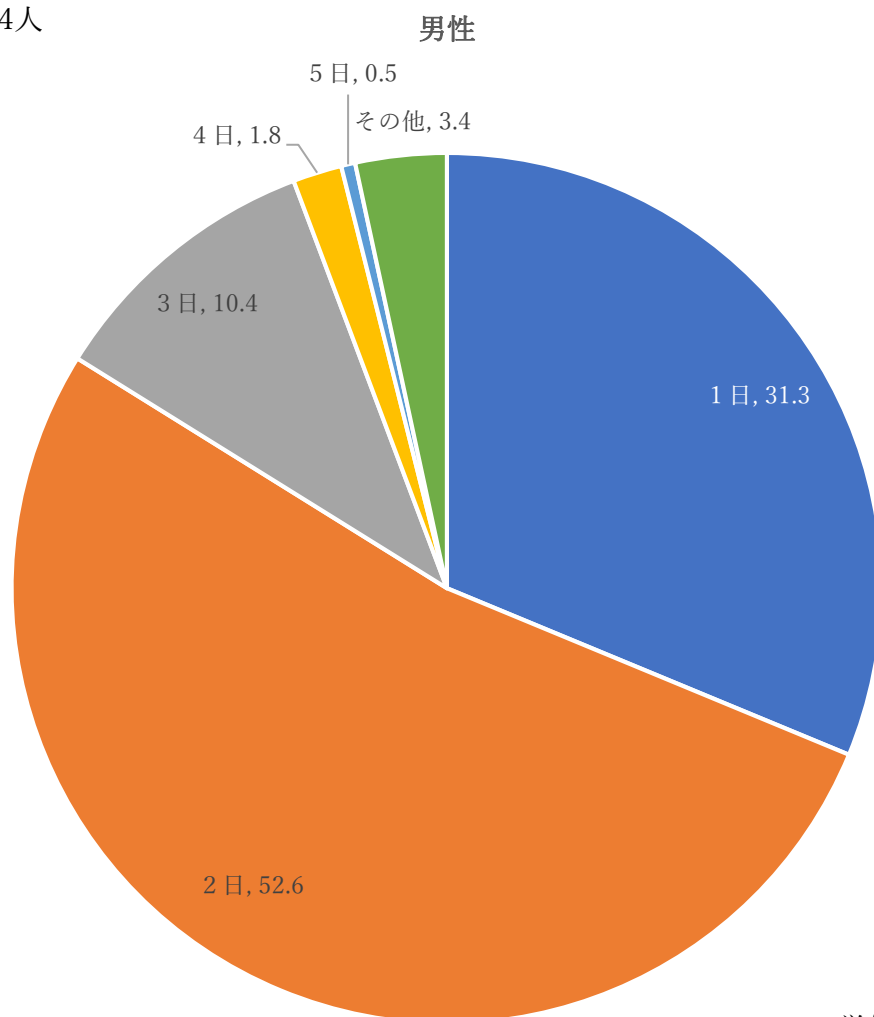
年齢別で施設への同行者を見てみると、70代以上における友人・知人の割合が他の年代に比べて多くなっている。また50代において配偶者と来訪する割合が多い。若年層では20代、30代にて親と来訪する割合が多い。



③ 滞在日数

回答者の滞在日数は半数以上の 52.6%が 2 日と回答。これはどの年代、性別をとっても最多となっている。1 日のみの滞在が次いで多く、31.3%という結果になった。

n=384人



単位：%

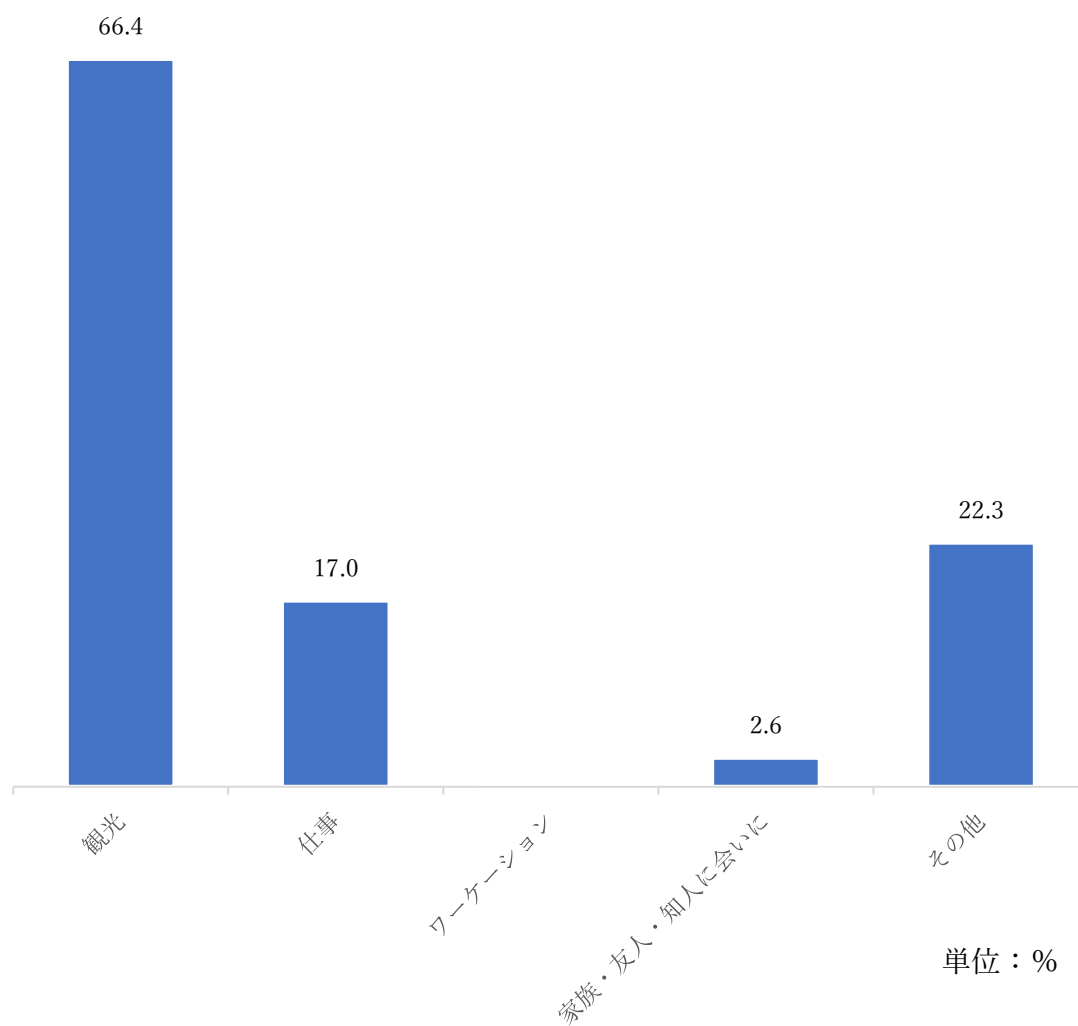
(ウ)回答者の意向

① 来訪理由

男性の来訪理由は観光が多い。仕事という理由も女性と比べると多い 17%となっているが、ワーケーションにて来訪した人はいない。

n=265人

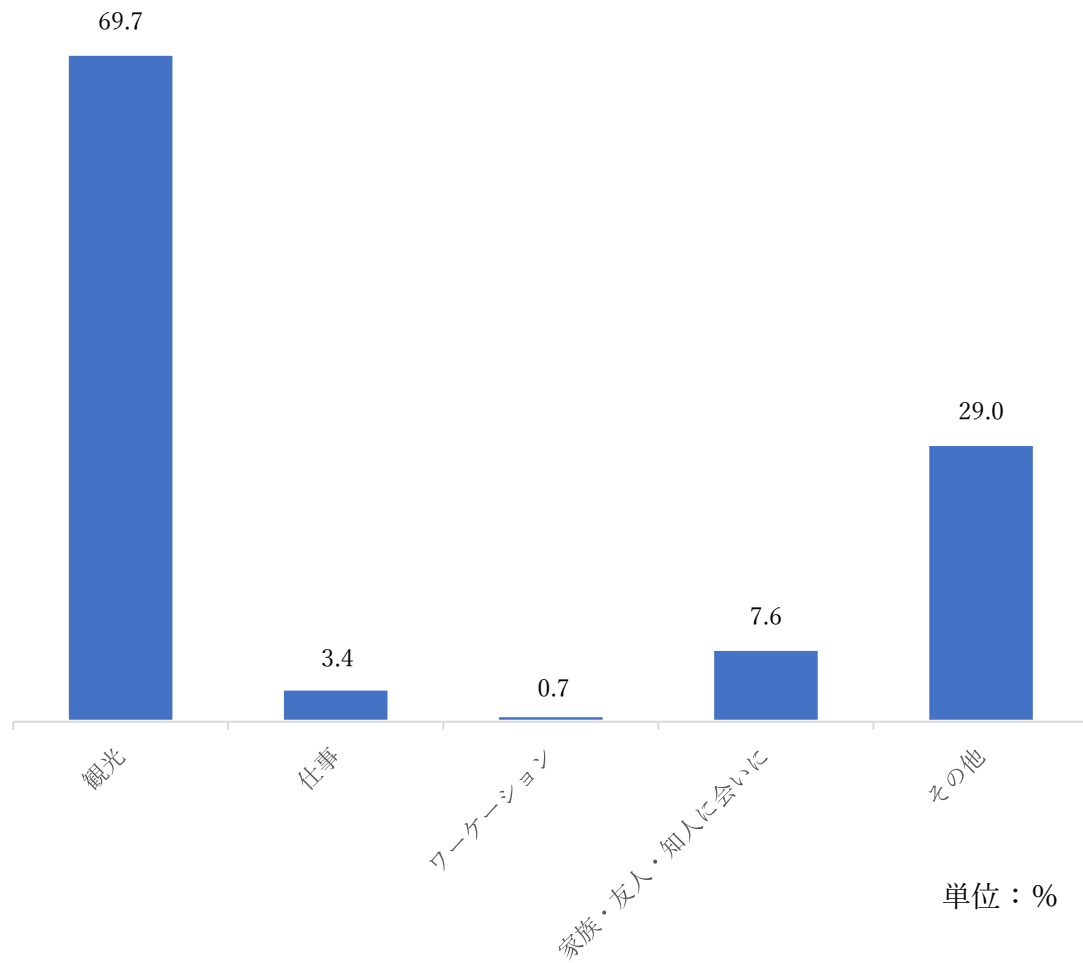
男性



女性の来訪理由も観光が多いが、男性と異なる点は仕事の割合が低く、家族・友人・知人に会いに来る割合が多い。またワーケーションにて来訪している回答者も僅かながら存在した。

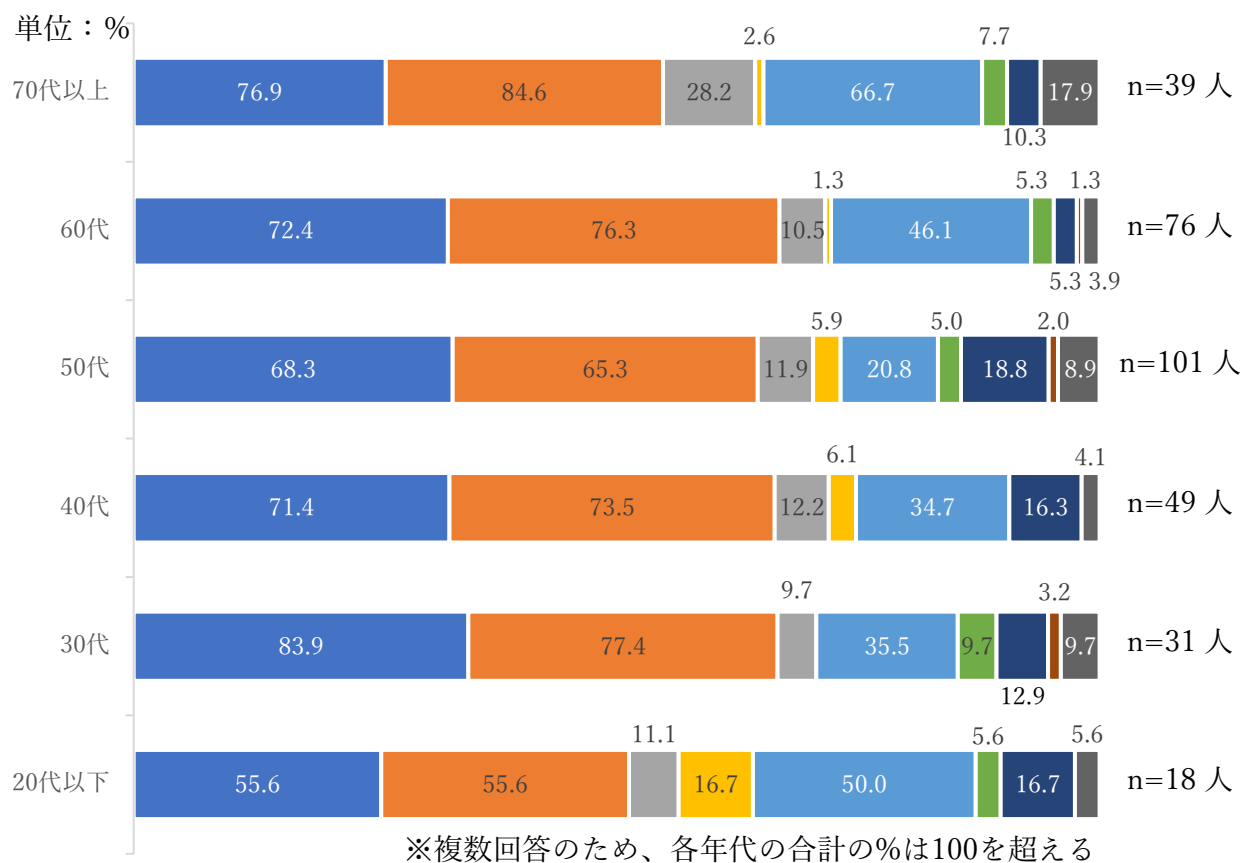
n=145人

女性



② 観光理由

20 代以下においてはレジャー施設を目的に観光に来る割合が他の年代より多い。60 代以上においては観光目的が温泉の割合が一番多いが、50 代より下の年代になると観光目的が料理・お酒となっている年代もある。



- 料理・酒を楽しむため
- 温泉を満喫するため
- 観光名所を訪問するため
- レジャー施設
- 自然景観・紅葉を楽しむため
- 史跡やゆかりの地巡り
- アウトドア・アクティビティを楽しむため
- イベント・祭りに参加するため
- その他

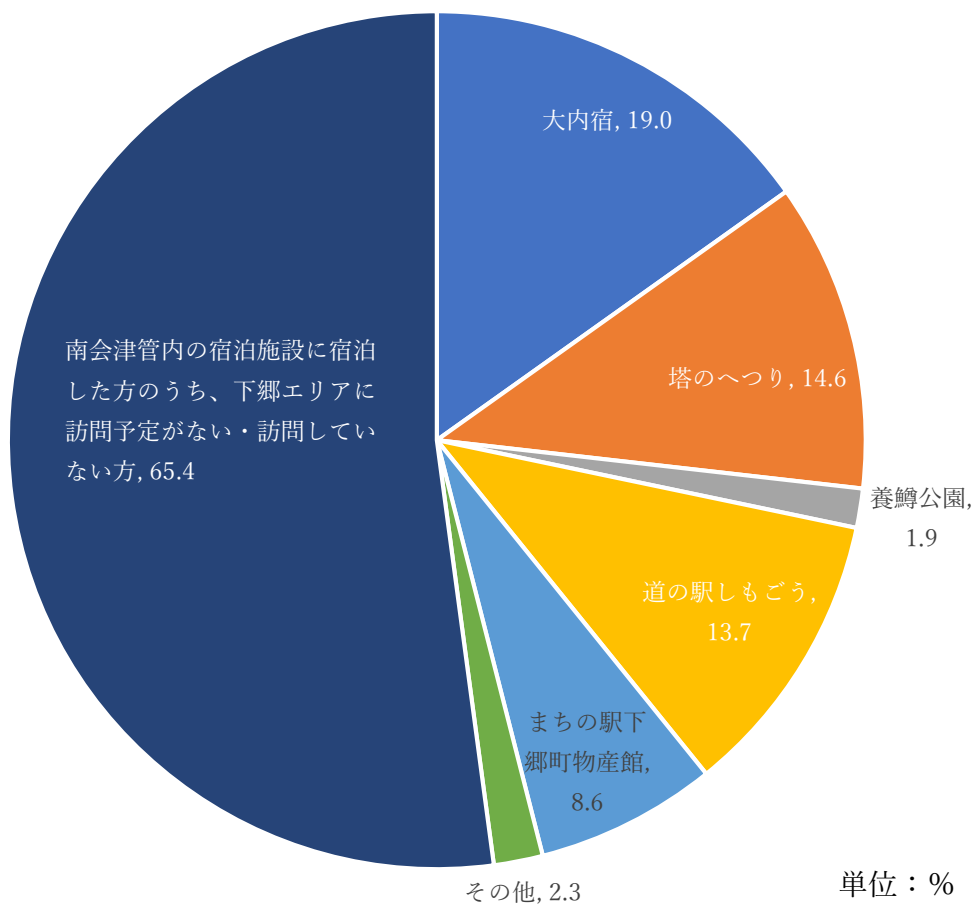
(エ) 訪問場所

① 下郷町

下郷町における訪問先で一番多いのは大内宿となっており 19%となっている。
次いで塔のへつりと道の駅しもごうが人気となっている。

n=431人

下郷町の訪問先



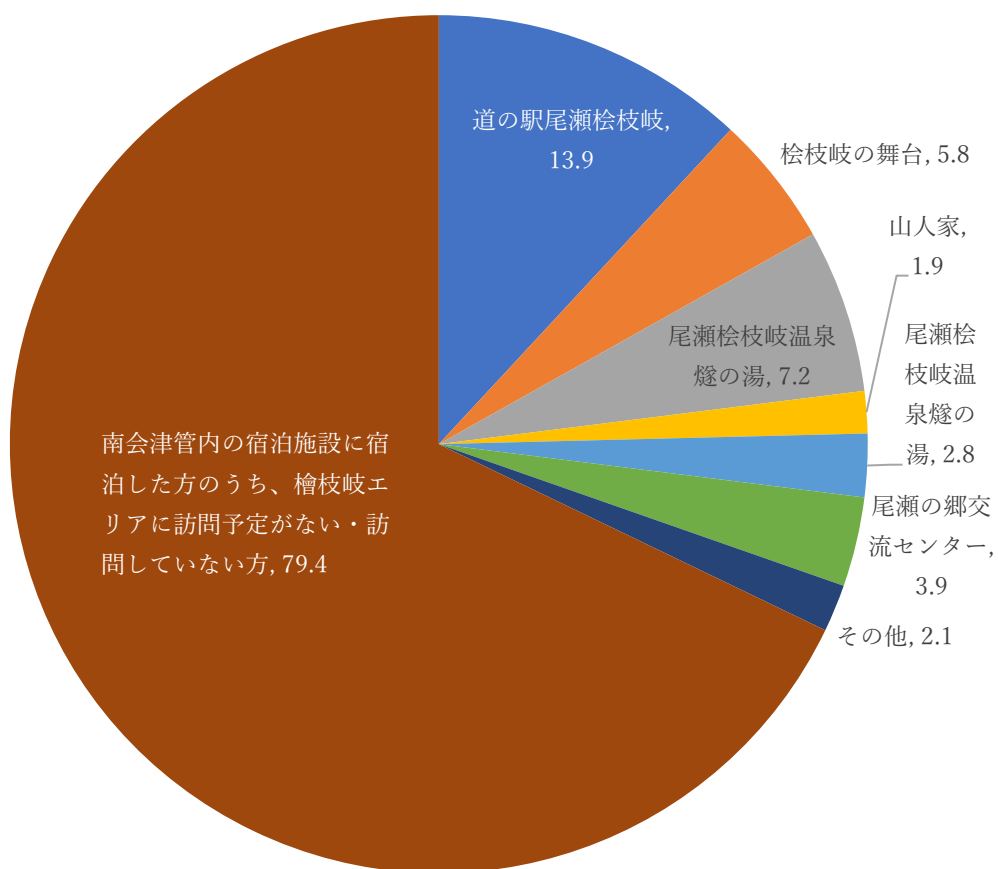
※複数回答のため、各年代の合計の%は100を超える

② 檜枝岐村

檜枝岐村における訪問先で一番多いのは道の駅尾瀬桧枝岐となっており、13.9%となっている。次いで尾瀬桧枝岐温泉燵の湯が人気となっている。

n=431人

檜枝岐村の訪問先

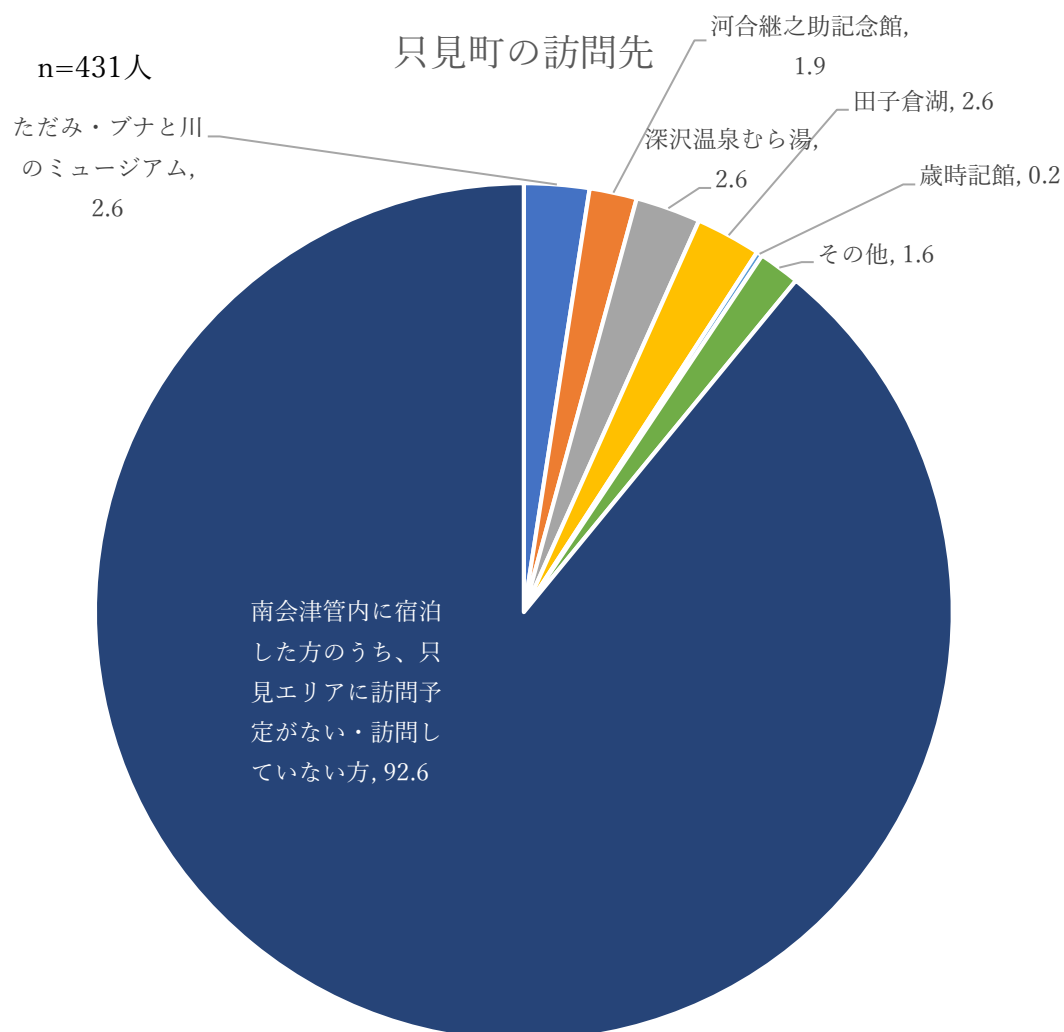


単位：%

※複数回答のため、各年代の合計の%は100を超える

③ 只見町

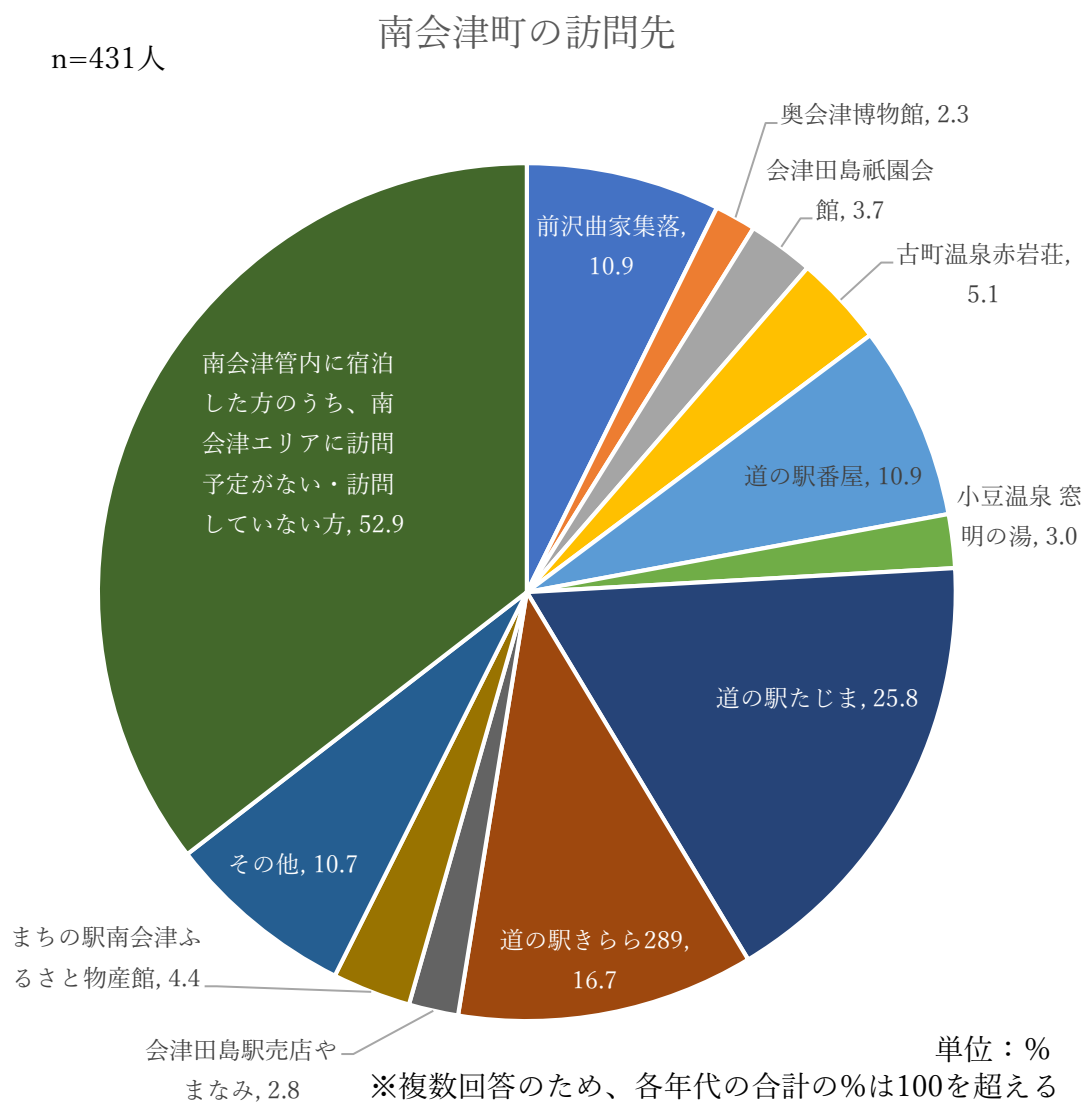
只見町における訪問先で一番多いのは2.6%でただみ・ブナと川のミュージアム、深沢温泉むら湯、田子倉湖となっている。



単位：％
※複数回答のため、各年代の合計の％は100を超える

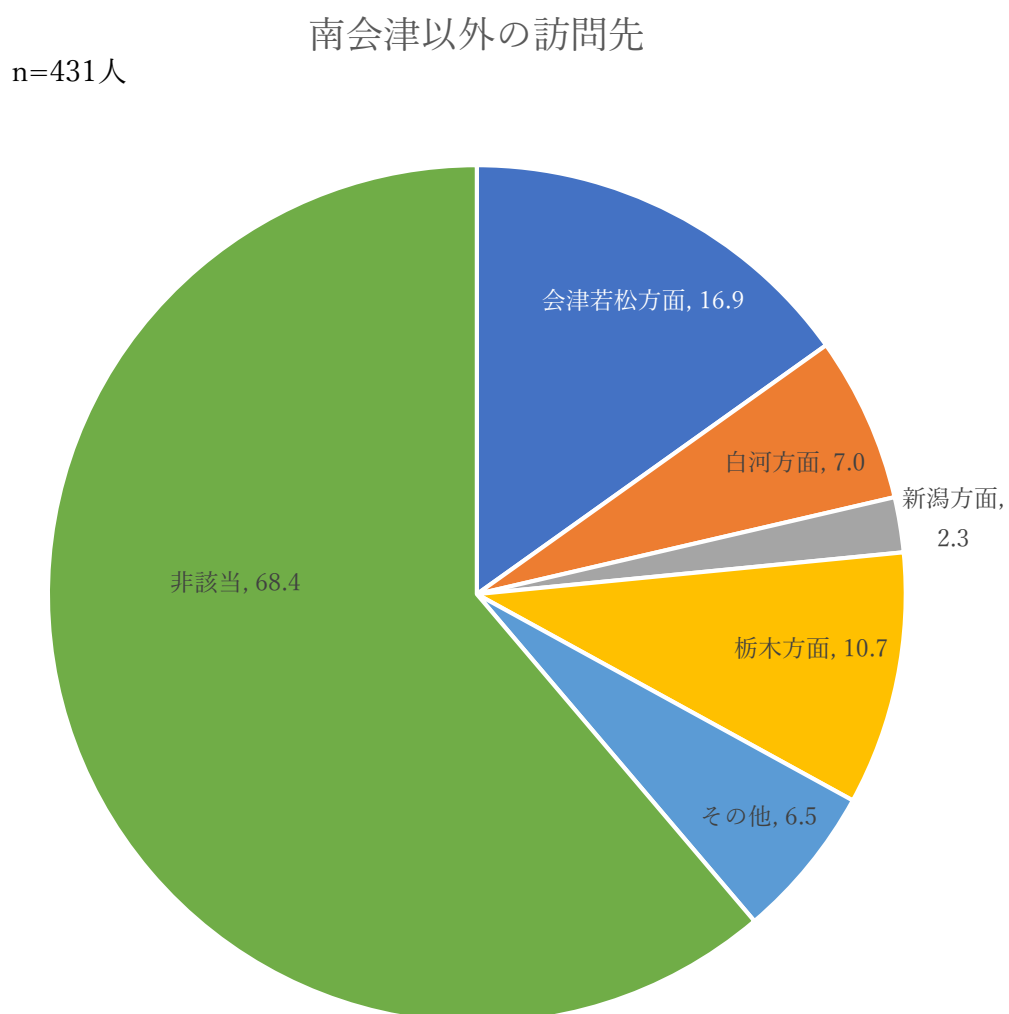
④ 南会津

南会津における訪問先で一番多いのは道の駅たじまで 25.8%となっている。
道の駅きらら 289 が次いで人気という結果となった。



⑤ 南会津以外

南会津以外では会津若松方面に訪問する回答者が 16.9%となっており、次いで多いのが栃木方面で 10.7%であった。

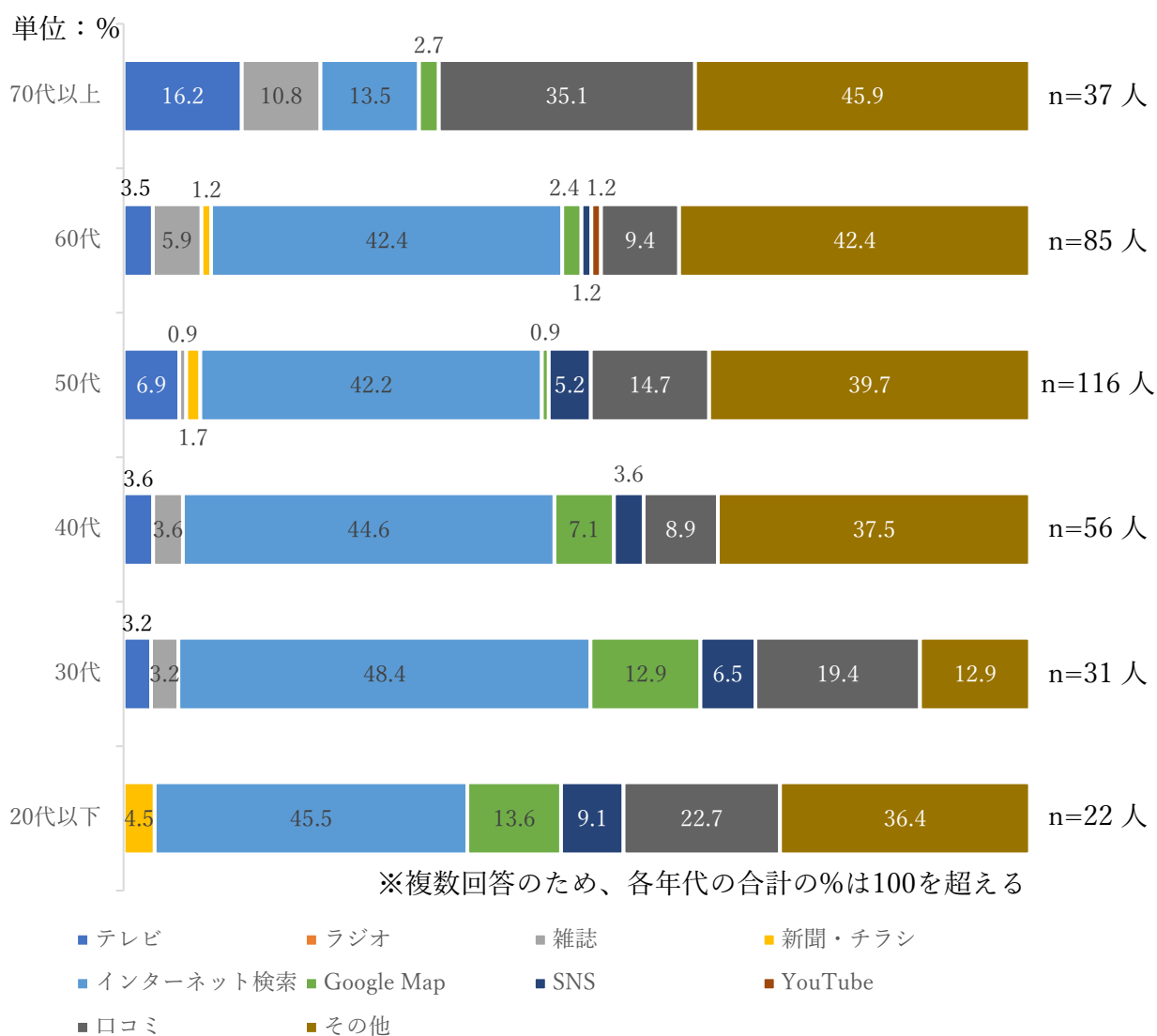


単位：％
※複数回答のため、各年代の合計の％は100を超える

(オ) 認知経路

① 南会津来訪を決めた情報源

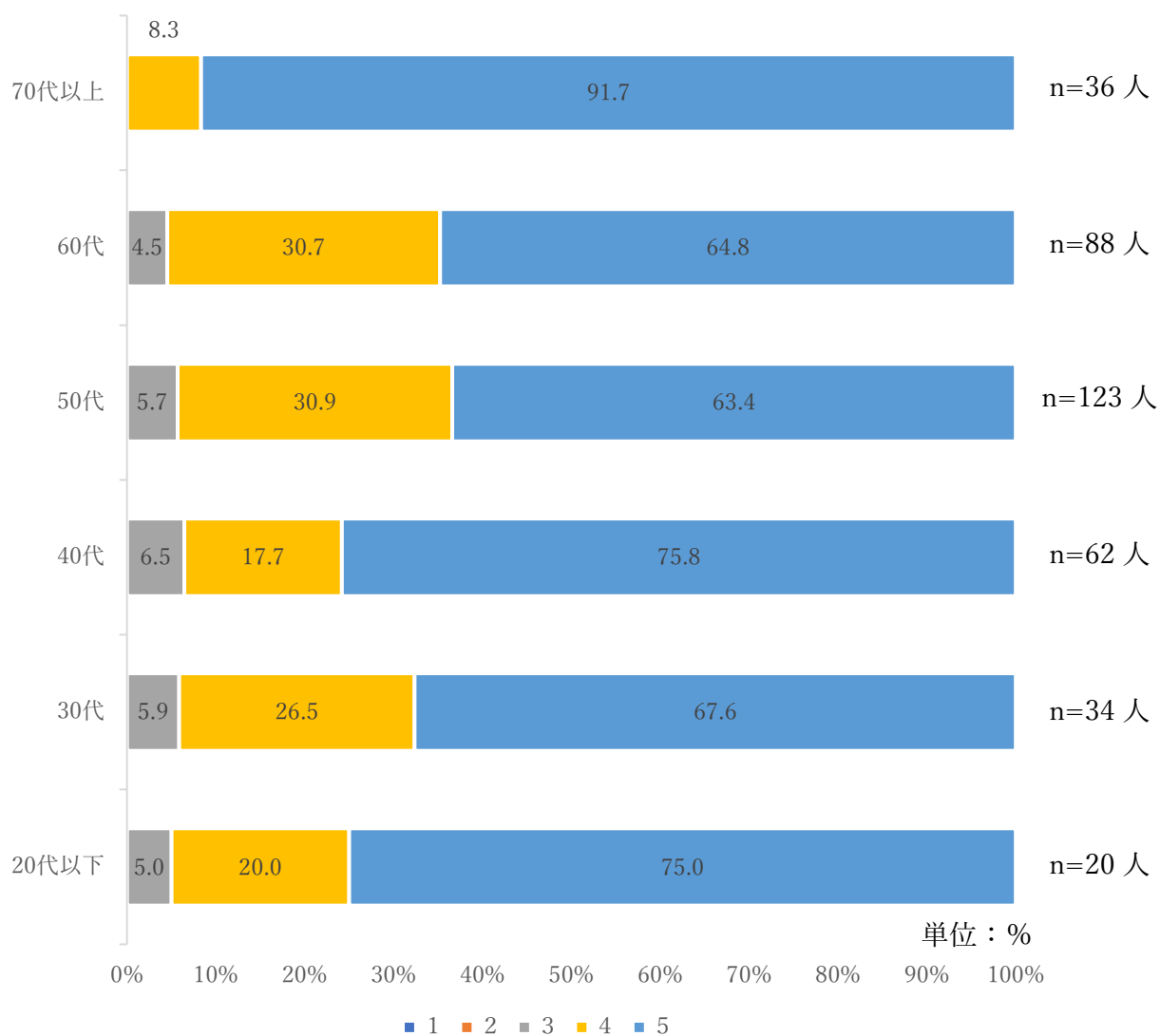
比較的幅広い年代において、インターネット検索を情報源としている割合が大きい。70代以上に関しては他の年代よりも口コミを情報源としている傾向が強い。20代から30代にかけて、Google Mapを認知経路として使用していることも興味深い。



(オ) 満足度

① 南会津滞在の満足度

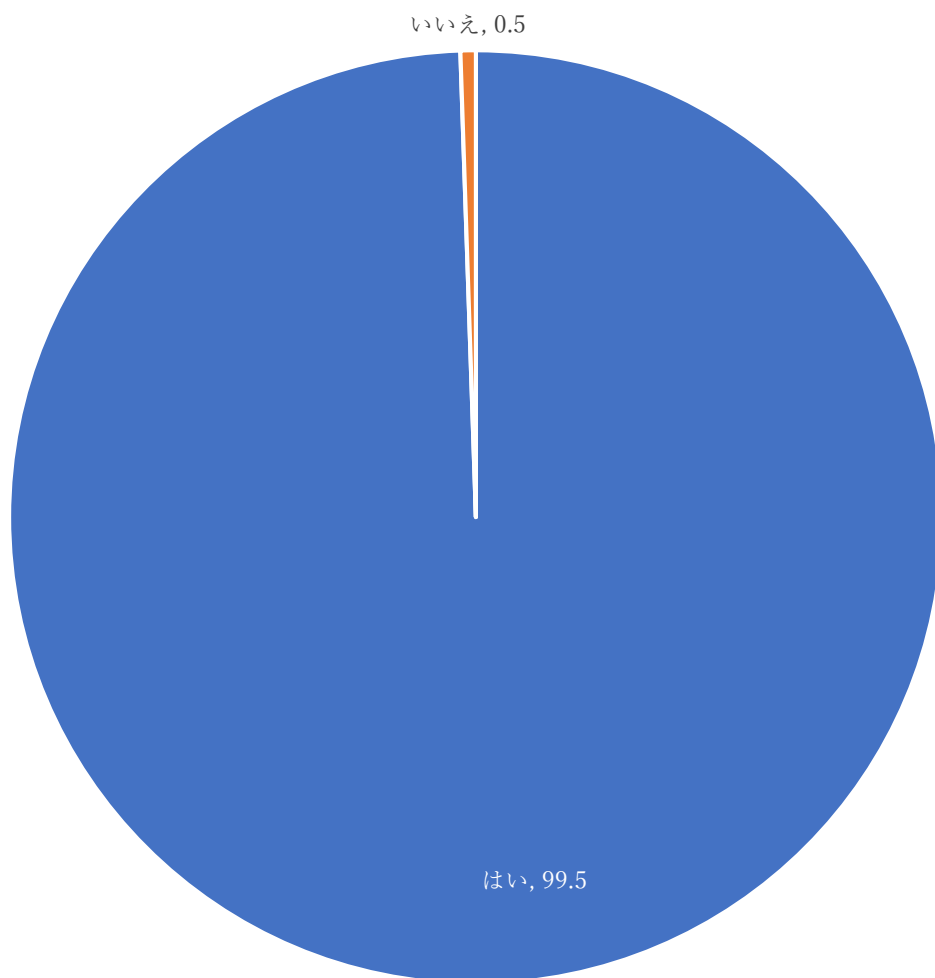
満足度で 1、2 と回答する人が 0 という結果となり、滞在における満足度は非常に高い結果となった（1 が満足度が低く、5 が満足度が高い）。その中でも 70 歳以上の滞在満足度において、満点である 5 と回答した人の割合が 91.7% と非常に高い結果となった。



② 再来訪意欲

再来訪意欲に関しては、99.5%の回答者がまた来たいと感じている結果となった。再来訪意欲したいかという質問に対し、2名の回答者が「いいえ」と答えたが、その理由も「北海道からは遠い」と「アクセスが悪く雪道が大変だった」という回答となっており、南会津自体への不満とはなっていない。

n=374人



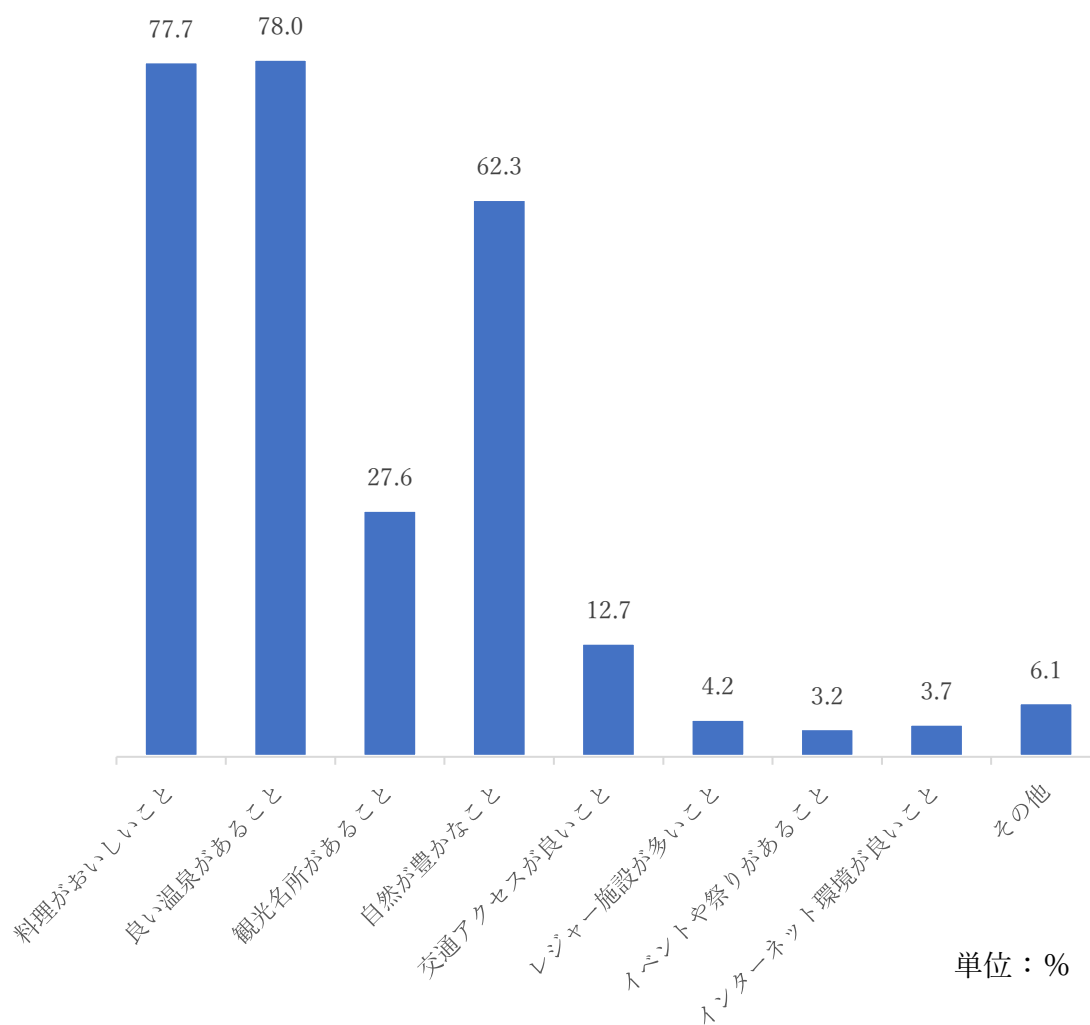
単位：%

(カ)回答者の嗜好

① 観光先を選ぶポイント

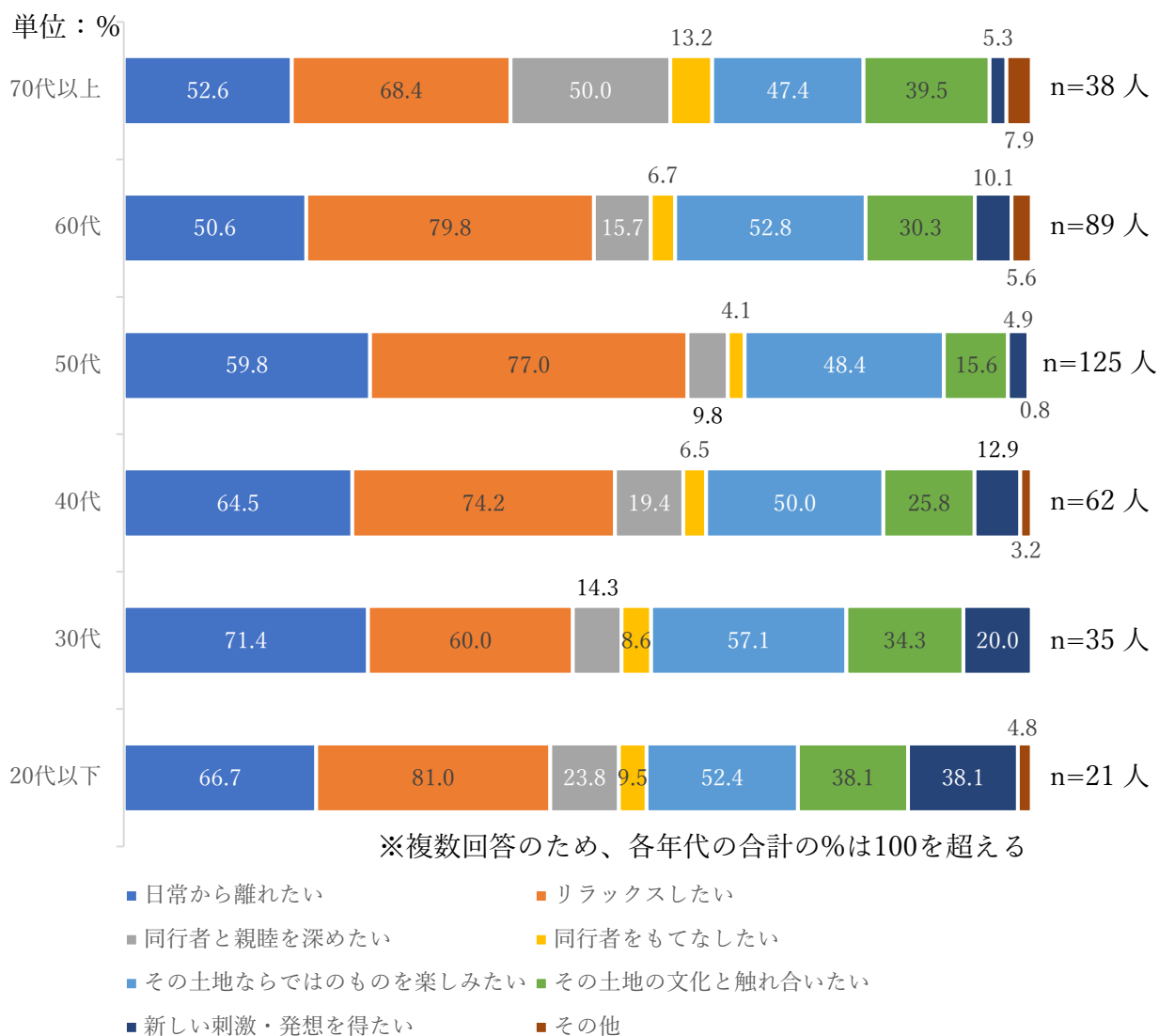
観光先の選定においては、温泉、料理、自然が重視される傾向があり、この傾向に関しては、性別、年齢を区切っても大きな差異は見られない。

n=377人



② 観光に求めるもの

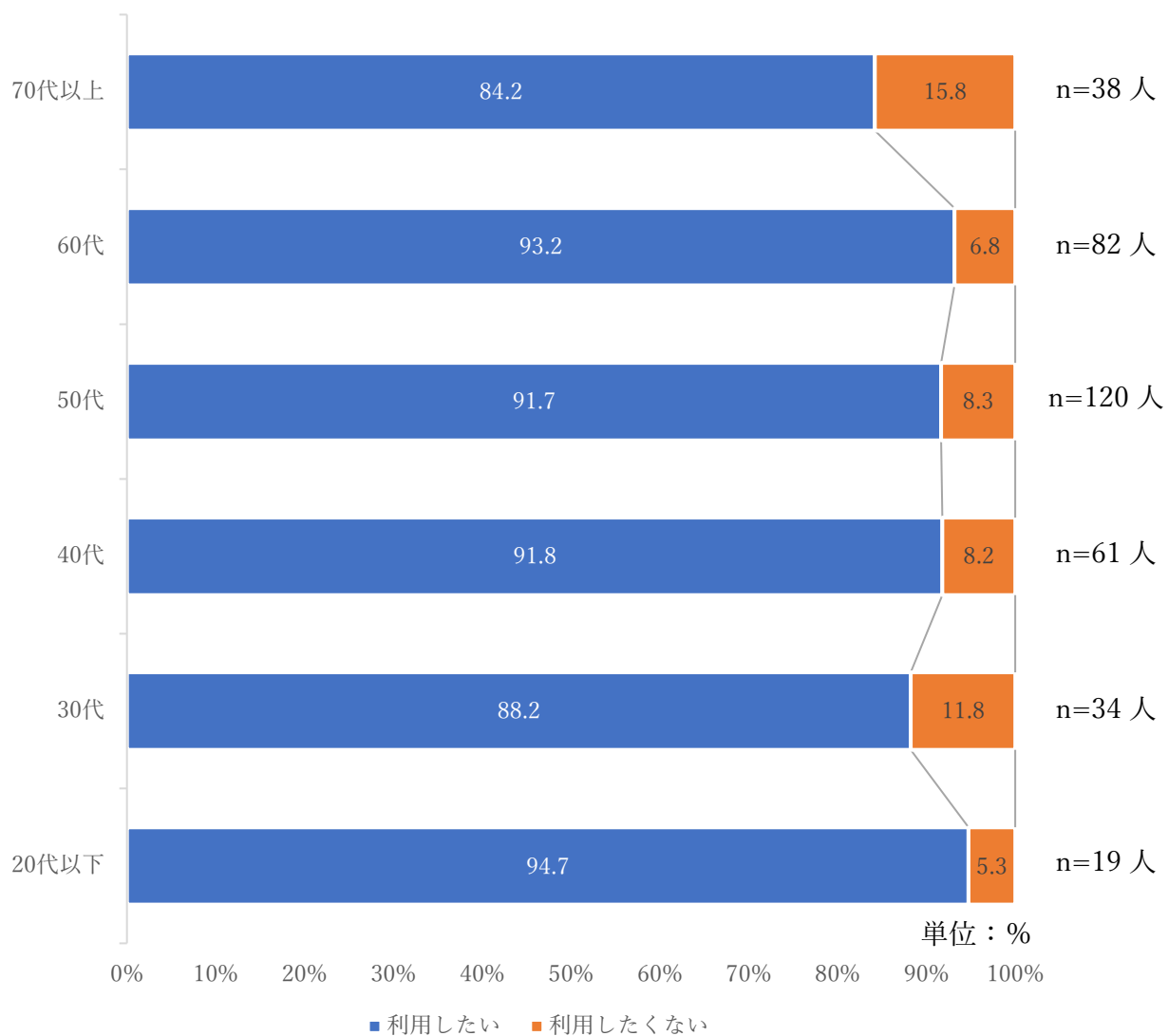
若年層に至っては、新しい刺激・発想を得たいという意欲が他の年代に比べると目立つ。70代以上の回答者では同行者と親睦を深めたいという要素を求める傾向が他の年代と比べても強い傾向がある。



(キ) 森林資源に関して

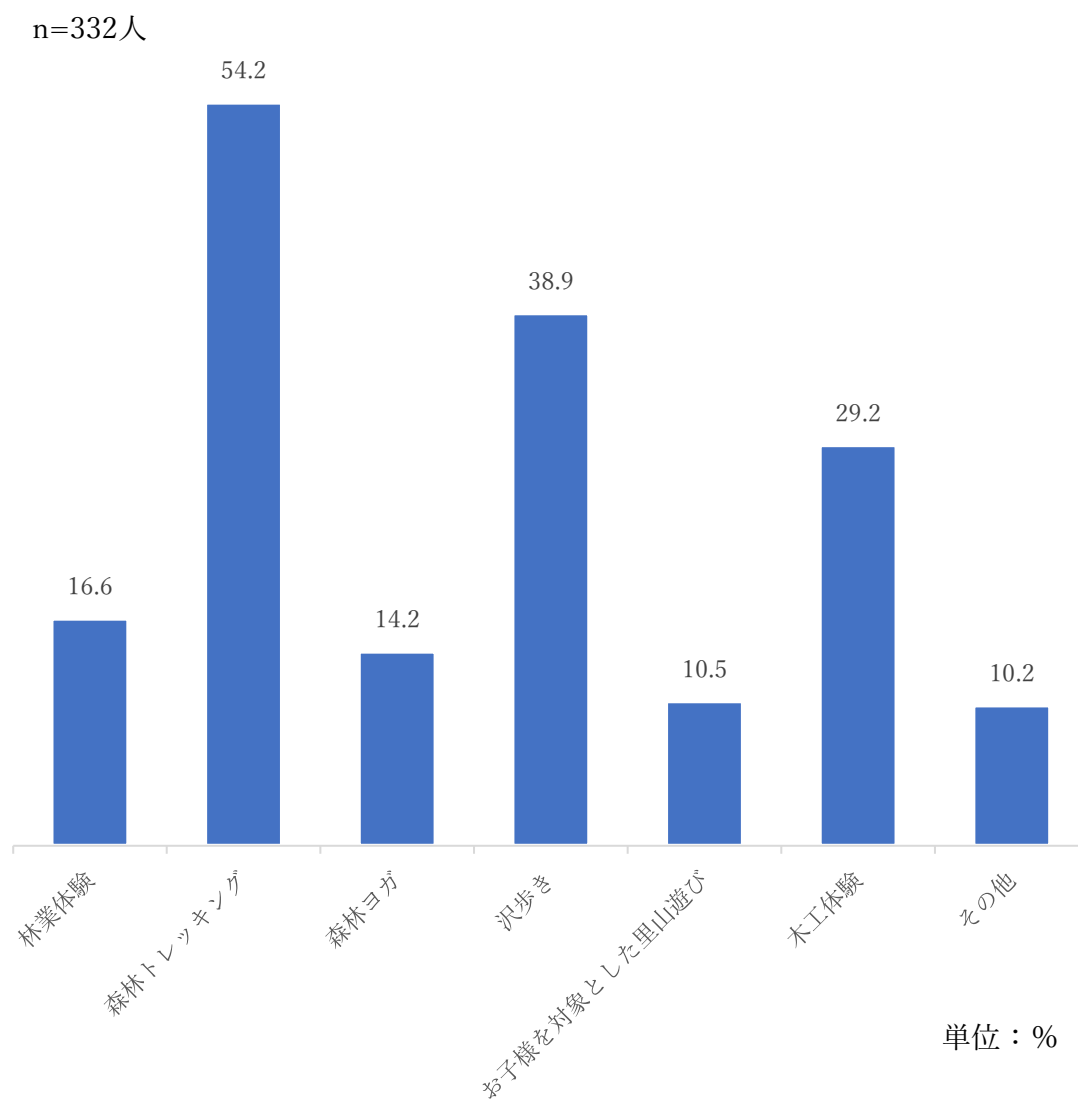
① 森林資源を活用した観光商品の利用意向度

20 代以下並びに 60 代にて森林資源を活用した観光商品の利用意向度が高い傾向となった。70 代以上に関しては森林資源を観光商品に求めない割合が他の年代に比較すると低い結果となった。



② 利用したい森林資源を活用した観光商品

利用したい森林資源を活用した観光商品は森林トレッキングや沢歩きなど、自然の中を歩くアクティビティが人気な傾向がある。木工体験も性別、年代問わず比較的人気という結果となった。



3. 観光施設での対面調査

(ア) 南会津を訪れた理由、観光先として選んだ理由（自由回答）

自由記述回答では、南会津を選んだ理由として登山やツーリング、リンゴ狩りやキノコ狩りなどのアクティビティや、買い物などの理由で選ばれているという結果となった。以下、回答を記載。

- 山歩き
- 登山
- 登山
- ツーリング
- 登山
- キノコ狩り
- きのこ
- キノコ狩り
- 登山
- 登山
- 登山
- 酒買い
- 馴染みのやどに宿泊
- 道の駅スタンプラリー
- ツーリング
- どんなところか、町の作りを知りたい
- 登山
- きのこ
- 赤べこ買い
- ダムカード収集
- 田子倉レイクサイドで買い物
- 写真
- 買い物、リンゴ
- 立ち寄りのため
- ツーリング
- リンゴ狩り
- おそば

(イ) 南会津にまた来たいと思う理由（自由回答）

自由記述回答では、南会津にまた来たいと思う理由として自然の豊かさ（紅葉や登山を楽しむことも含め）や人の良さ、食べ物やお酒の美味しさを挙げる人が多かった。また、ツーリングやドライブを楽しみにまた来たいという回答も目立った。以下、回答を記載。

- 尾瀬があるから
- 自然が豊かだから
- 尾瀬ハイク、温泉が良かったから
- 尾瀬、会津駒、宿
- 自然が良く、気候も良い
- 自然
- 全てが良い
- 料理が旨い。観光を楽しめる。温泉でリラックスしたい。
- 観光の為
- 四季を通じて景色がきれい
- 自然が大好き。観光名所がたくさんあります
- お料理も風呂も良かった
- 前に来た時に「豆腐」が美味しかったから
- 紅葉にはまだでした
- 自然・山が好きだから
- 時間をかけて色々見てまわりたい
- 登山で年数回訪れています
- 登山のため
- 自然が多い（特に紅葉）
- 食事が美味しかった。温泉も良かった
- 登山の拠点として、温泉もあり、良いと思う
- 自然が沢山、人が少ない。
- 福島好き
- 空気が良い。ドライブに最適な時間で来れる。
- 今のところ未定
- 景色がのどかで良い
- 自然が良い
- 山登り
- 美しい自然と、食べ物が美味しくて、人もフレンドリー

- アウトドア目的で来てみたい
- 何回も来ているので
- 良い写真を撮りたい
- 自然が多い
- 静かにのんびり過ごせる。山の「サイズ」が手頃
- 初めて訪問したのでまだ分からないので、会津に寄った際にまた寄ってみたい
- 山登りのため
- 自然・温泉が素晴らしい
- 自然が沢山で空気が美味しい
- キノコが採れるから
- 山遊びが楽しい
- 紅葉がきれい
- ゆったりとした風土
- 道が整備されていて、気持ち良く走れ、マナーも良い
- 少し早い紅葉でしたが、2～3週間後にまた来たい。春の新緑も見てみたい。もっと広く知る手立てがあると良い。
- 自然が美しい
- 紅葉が素晴らしい
- アクセスが良い。樹海ラインも楽しいから。
- 自然がいい
- 大好きだから。松源さんに泊まって、感動しました。涙が出ました。
- 料理、登山が良い
- 好きなので
- 良い所だから、自然も人も。
- 自然を楽しみたい
- ドライブが好きなので、山道が楽しいです。
- 民宿が良い
- 料理が美味しい
- 自然、料理、温泉
- 山菜料理、景観の素晴らしさ
- 紅葉の時期にまた来たいです。
- 雪降ったら、スキーとか出来るかも
- 景色が良い
- 美しい自然
- 紅葉 温泉

- ロードバイクでまた来たい
- 紅葉の時期に合わせてまた来たい
- 近いツーリングコース
- 景色が素晴らしい
- 自然が良く残っている
- 今日と違った景色を見たい
- 自然がきれい
- 自然が良い
- 紅葉のきれいな所。いわきの紅葉はあまりきれいではない為
- 紅葉
- 自然がすてき
- 食べ物が楽しみ
- 紅葉
- 田子倉から新潟に抜ける道が良い
- 田子倉ダムから新潟に抜ける街道の景色が良いため
- もっとゆっくり楽しみたい
- 旅行に一泊してみたい
- 自然を楽しめるから
- 撮影のため
- 景色（四季それぞれ）を楽しむ
- 自然豊かできれいだから
- 長岡から近いから。（アクセスが良いともっと良い。60 里トンネルが早く開通して欲しい）
- 長岡から近いから
- 毎年来ている
- 景色いいですね。昔子供たちと来て、懐かしいから
- 景色がよいかあ
- 一泊で行けない所がある
- 景観。川と山、紅葉
- ドライブに良い
- 自然が豊か
- 景色が良い
- 自然が大好き
- きれいだから
- 紅葉
- 自然を満喫

- 宿の料理、接客が大変良かった。前沢の曲家を見て、宿の曲家に泊まり、感激することしきり。
- ドライブに良い
- 元々都会育ちのため、溪流・森林は好きで、福島に来てから温泉が加わった。
- 只見町や桧枝岐村が好きだから
- そばが食べたい。温泉も入りたい。
- 近くて良い
- 352 号線をドライブの予定
- 自然が良い
- 自然が多い事
- 自然
- バイクで走りやすい
- 紅葉
- 紅葉観る
- 必ず通るため
- 温泉
- 自然と景色
- 自然と景観が好きだから
- 自然が豊か
- 紅葉の時
- 自然が豊か
- 馬肉食べたい
- 景色がいいから
- 紅葉
- 自然がきれい
- 紅葉の時期に
- 田子倉ダムのすごさに驚かされた。遊覧船が休みなのが残念です。
- 只見川沿いの景色が素晴らしい
- 景色が良い
- 自然、温泉
- 紅葉がきれいな時に
- 静かで酒がうまい
- 自然が美しく、ペンションが良い。
- 自然
- ペンションがとても良かった。オーナー夫妻が親切。景色がのどか。次回はゴルフも楽しめそうです。

- ペンションが良い。
- 自然を楽しみ、料理を楽しむ
- ペンション、景色（そば畑）
- 食べ物がおいしい
- 食事が美味しい
- 道の駅が楽しい。自然が沢山。
- 釣り、アウトドア、知り合い
- いつも来ている。紅葉。
- 自然が良い
- 温泉が良い。ドライブが楽しい。
- いつも来ていて、来やすい
- 故郷がある
- 食べ物
- 田島の道の駅（南郷のトマト、ブルーベリー、リンゴ）
- 自宅からちょうど良い場所
- 紅葉
- 春、夏を知らないの
- 自然が良い
- 以前、松枝岐の民宿に泊まって、宿の方の対応が良かった。
- 良いところだから
- 紅葉が良い
- 温泉。丁度良い距離
- 紅葉が見たいので
- 関東方面に行くのに都合が良い。
- 紅葉
- 顔なじみの売店のおねえさんやトイレ掃除の渡辺さんに会うのも楽しみです。
- お酒がおいしいから
- 花の鑑賞
- 自然が豊かで癒される
- 観光、登山
- 紅葉にまた来たいです。
- 会津の酒を買う
- よいところ、写真、
- 静かな所でゆっくりしたい
- 道が走りやすい
- またソフトクリーム食べたい

- 紅葉がきれい
- 会津喜多方方面好み
- 自然、人が少ない、つり
- 空気がおいしい
- 自然豊かに加えて、食文化がすばらしい
- まだ分からない
- グルメスポットがあると良い。せっかく走りやすい道路なのでもったいないです。特に、道の駅には地元の方が作った食べ物が充実していると良いと思います。
- 自然が豊か、静か、料理良し
- 楽しみ（ドライブ）
- 年2回来ています。また来たいと思う心がいつも残っています。
- 紅葉
- 自然がきれい
- きれいでした
- 景観がすばらしい。
- 紅葉がきれい
- 紅葉がキレイ
- 景色がきれいだったから。
- 気候がいい。 温泉。
- 焼き鳥がおいしかったから。
- 紅葉がいいかんじです。
- 自然
- 自然
- お酒が美味しい
- 紅葉 おみやげ
- 自然が豊か
- きれいな町
- 景色が良いから
- 美味しいものがたくさんあった
- 観光に又来たいと思ったから
- また別の季節に来たい
- 自然豊か
- 時間に追われずゆっくり過ごせる点。紅葉がきれい。
- 紅葉が見たいから。空気が美味しいから
- 名所（歴史）が多いから

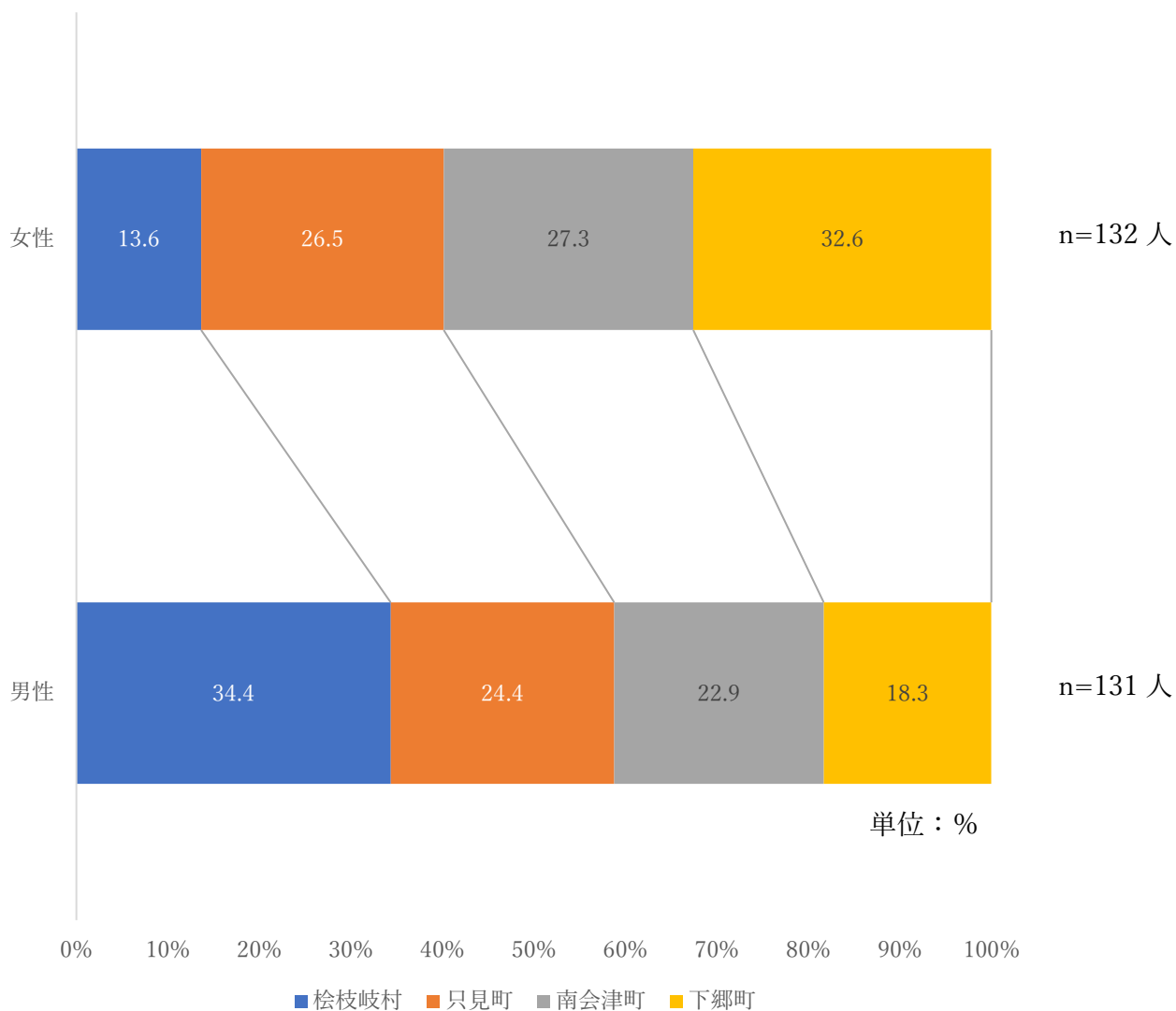
- 自然豊か 非日常 リラックス
- おそばおいしい。景色もきれい
- 雪の季節に來たい
- 歴史が好きだから
- まだ行けていない所がある。紅葉の時期に來る。または春
- 風景がすてき
- 食べ物が好き
- ネギそば食べたいので
- 家族と來たい
- 紅葉もきれいで趣がある。ご飯も美味しい。
- ゆったり出来る。温泉、景色が良い
- 見る所がいっぱい
- まだ見足りないです
- 色々な歴史的な建物
- 温泉、人柄
- 景色がきれい
- そばが美味しい
- 温泉と自然
- 自然が楽しめる
- とても素敵な場所でした
- 空気が美味しい
- 伝統建造物である大内宿をまた見たいと思いました
- もっといろいろ見たい所が多かった
- 雰囲気が好きだから
- 楽しいから
- 自然がとても良い
- 雰囲気が良かった。人が優しい。自然がすてき。
- 観光地が沢山ある
- 観光地がいっぱいあるから。ご飯が美味しい。
- 自然が残っていて素晴らしい
- とても良い。穏やか。
- とても素晴らしい景色と、あたたかい人たちがとても良いと思います。
- 雪の大内宿に來たい。
- 温泉、自然が良い
- 自然と温泉
- まだ行っていない所があるため

- 観光名所が良かったから
- 以前来て良かったから
- のどかで良いと思う
- 観光しに来たいと思った
- 近いから
- 温泉とご飯が良かったです
- 自然が沢山ある
- 良く来ている
- 景色がきれい
- 色々なものを楽しみたいです。
- 紅葉がきれい。大内宿がにぎわっている。
- 人が好き
- 紅葉がすごいと思います。
- 良い温泉と自然があること
- 自然がいいところ
- 夏に来たい
- ドライブしやすい
- 自然
- 星が美しい。お湯がいい。沢の水がきれい。
- 会津塗の器を買うため
- 昔の作りが好きです。
- 大内宿大好き

(ウ)実施エリア別属性情報

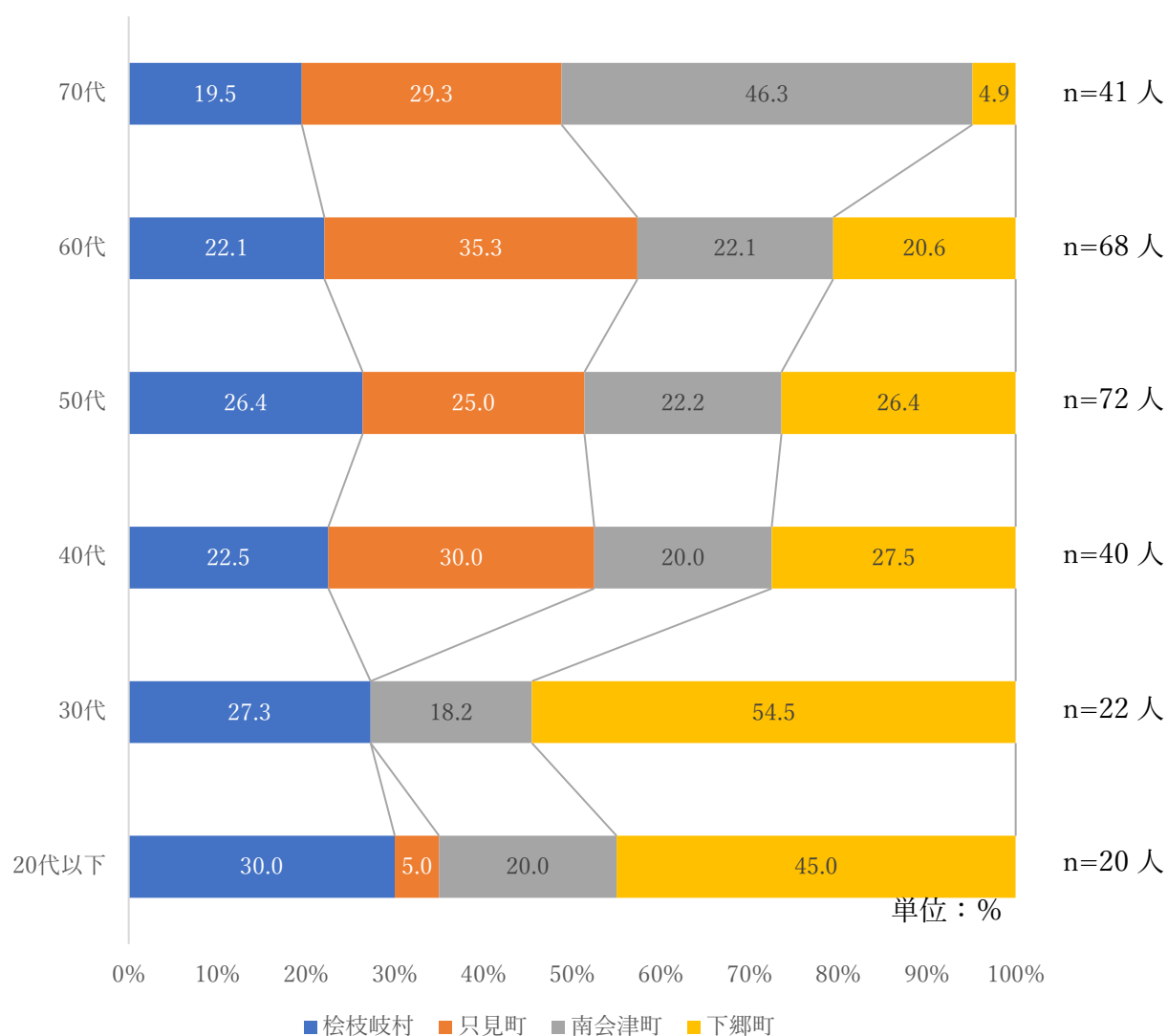
① 性別別回答者割合

性別による各解答エリアの回答者の割合を分析した結果、桧枝岐村においては男性の割合が多い結果となったが、その他のエリアにおいては女性の割合の方が高い結果となった。



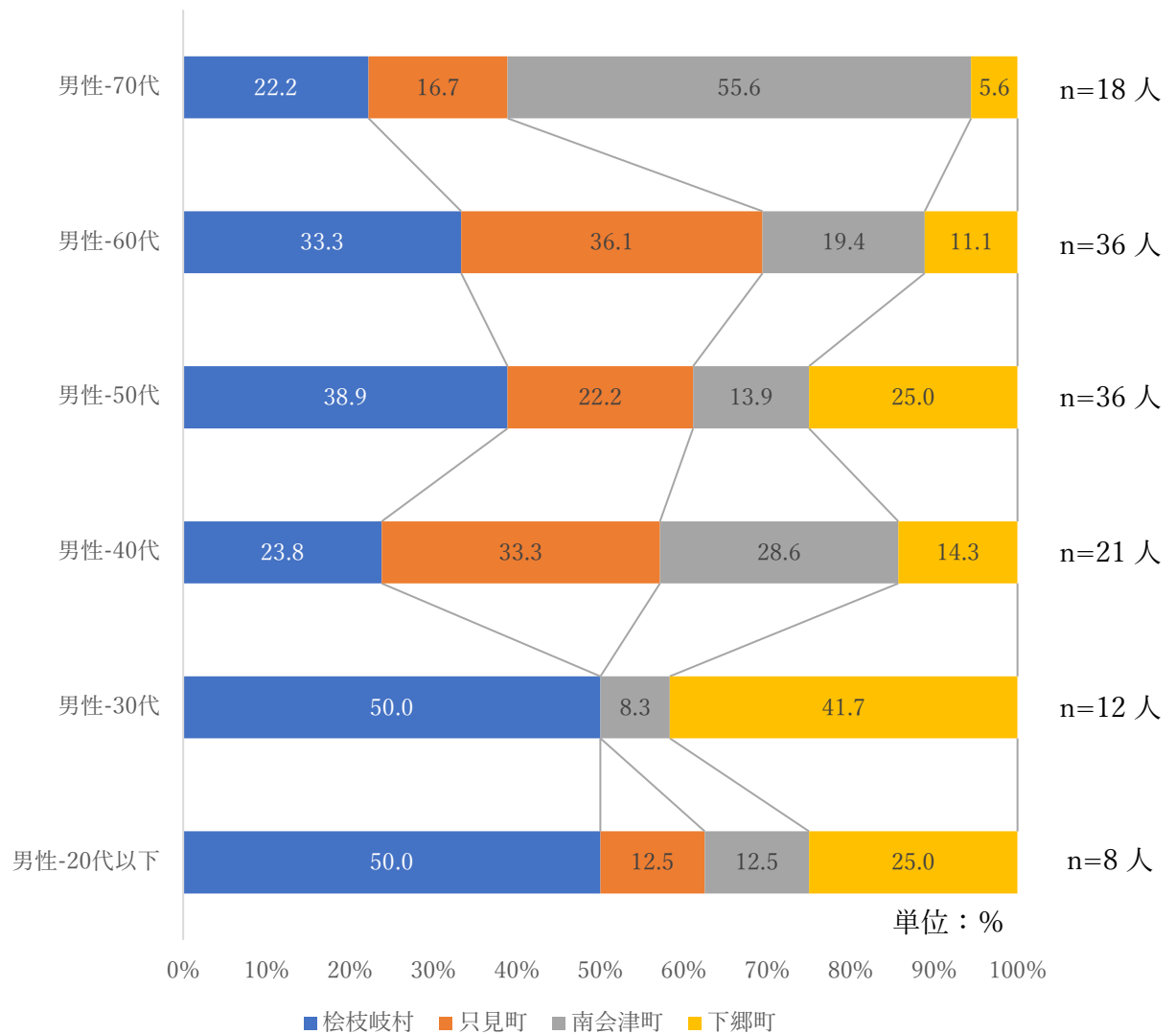
② 年代別回答者割合（全体）

年代別の回答者の割合を見ると、20代や30代の若年層においては、下郷町での回答が目立つ。一方只見町や南会津町においては、60代や70代の訪問者の回答が目立つ結果となった。



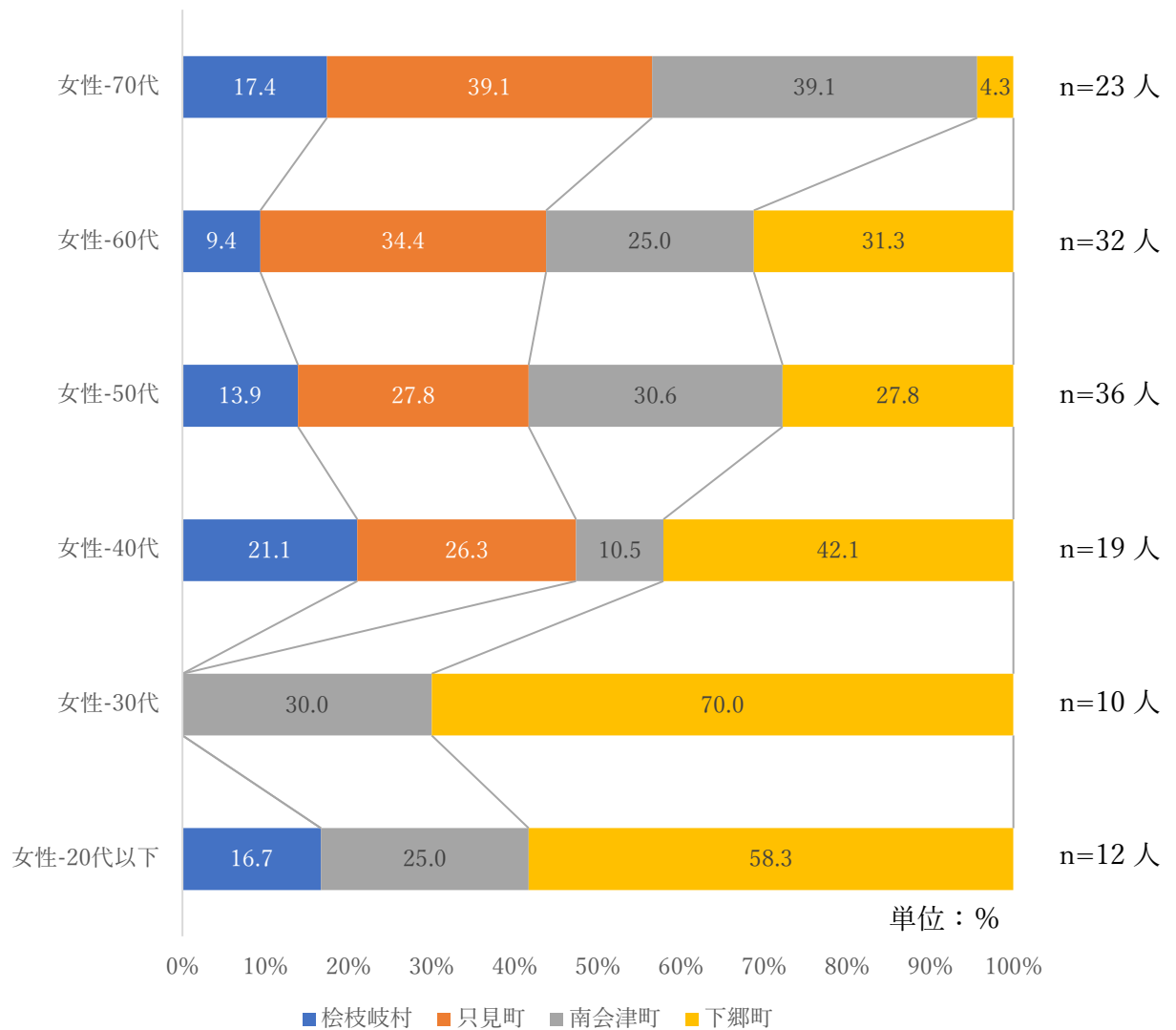
③ 年代別回答者割合（男性）

男性の年代別の回答を見ると、20代や30代においては檜枝岐村での回答が多い結果となった。同時に30代においては下郷町という結果も多い。70代においては全体の結果と同様に南会津町にて回答する人が多い結果となった。



④ 年代別回答者割合（女性）

女性の年代別の回答を見ると、男性と傾向が異なり、20代や30代における回答の割合は下郷町が多い。40代においても依然下郷町が高い割合となっているが、50代以上は只見町や南会津町の割合が高くなってくる。



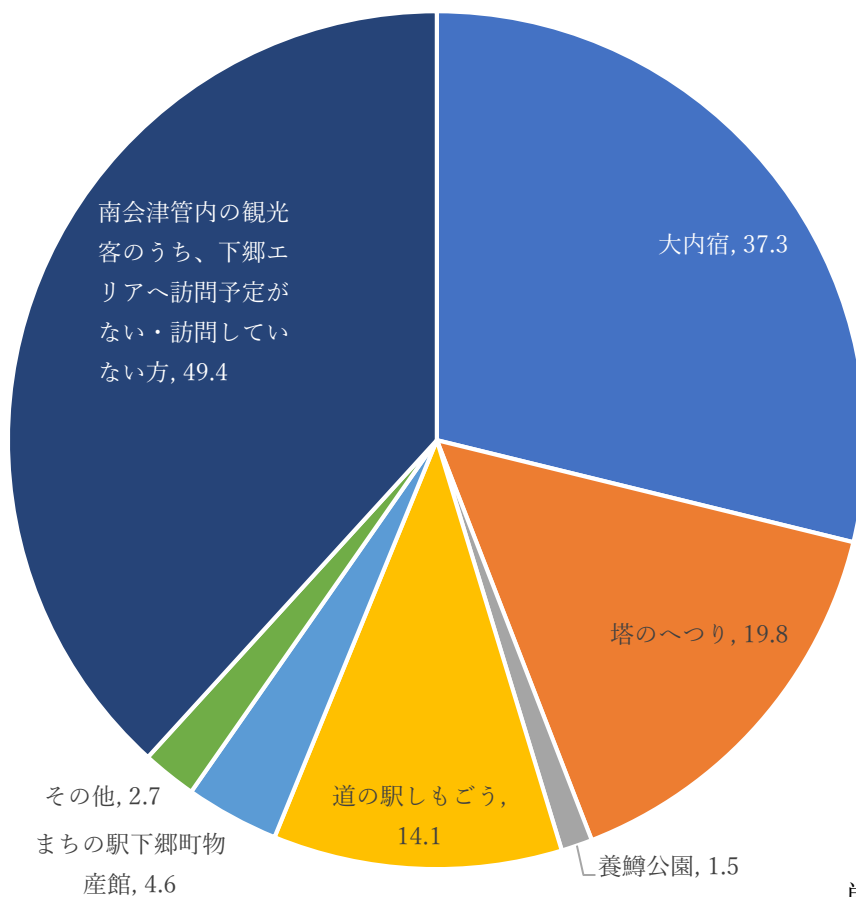
(エ) 訪問場所

① 下郷町

下郷町における訪問先で一番多いのは大内宿となっており 37.3%となっている。次いで塔のへつりと道の駅しもごうが人気となっている。

n=263人

下郷町の訪問先



単位：%

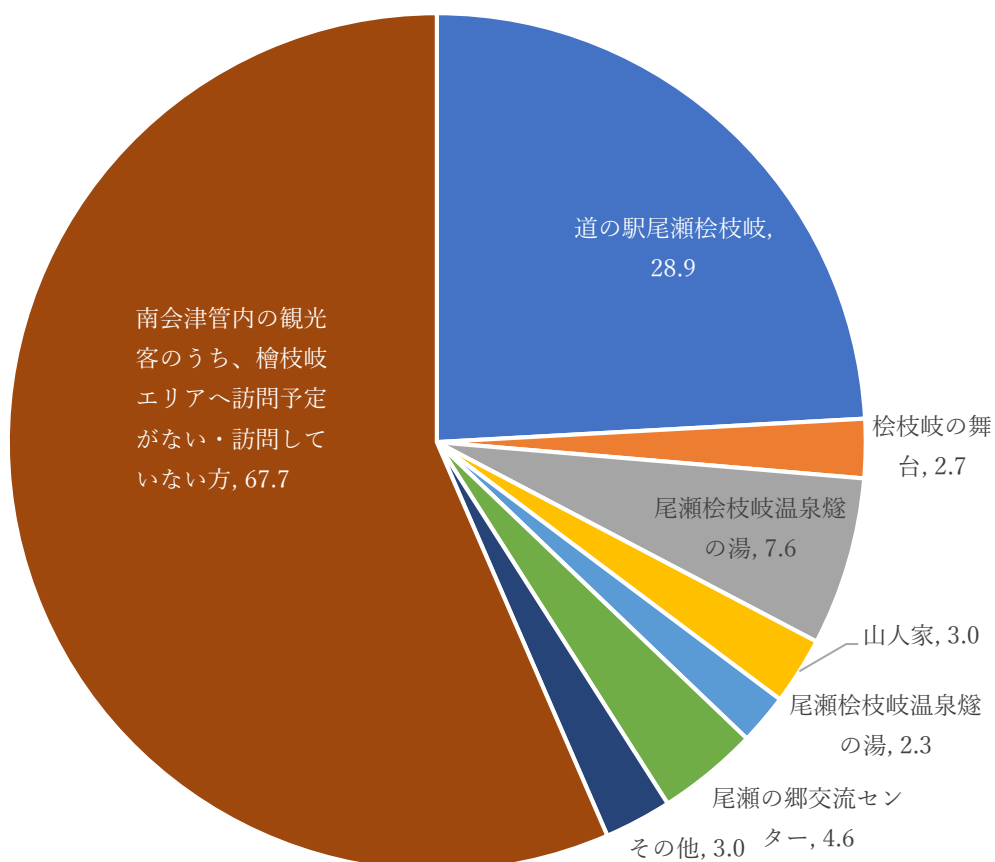
※複数回答のため、各年代の合計の%は100を超える

② 檜枝岐村

檜枝岐村における訪問先で一番多いのは道の駅尾瀬桧枝岐となっており、28.9%となっている。次いで尾瀬桧枝岐温泉燵の湯が人気となっている。

n=263人

檜枝岐村の訪問先

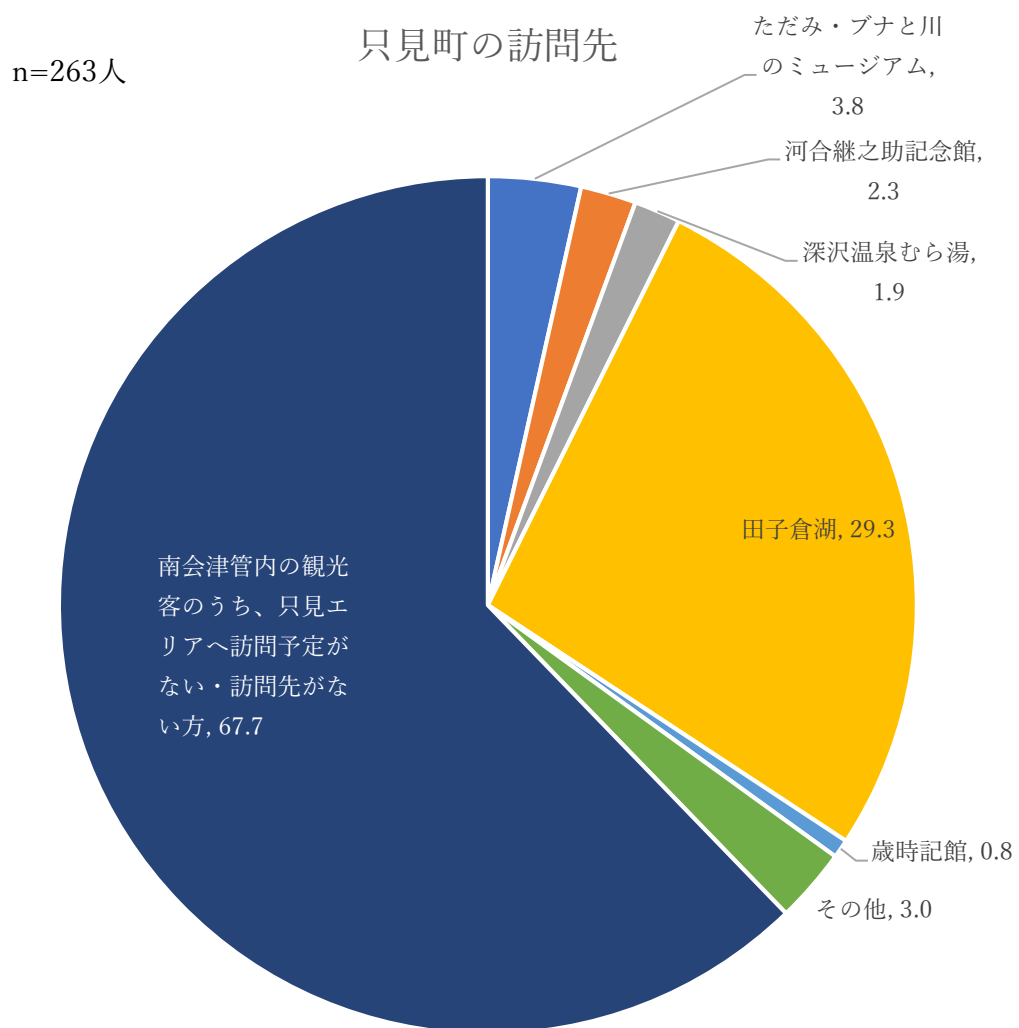


単位：%

※複数回答のため、各年代の合計の%は100を超える

③ 只見町

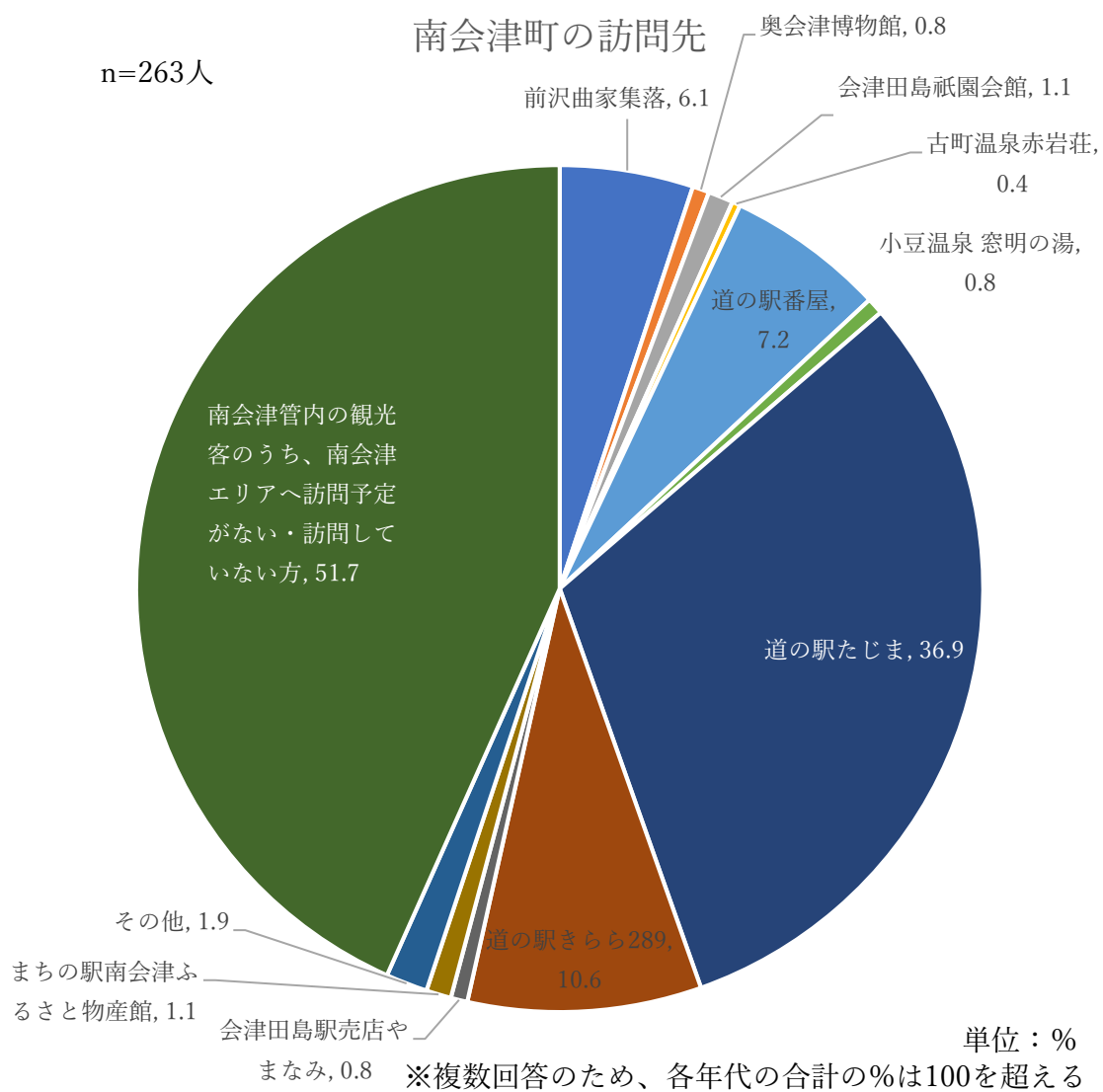
只見町における訪問先で一番多いのは 29.3%で田子倉湖となっており、多くの人気を占めている。



単位：％
※複数回答のため、各年代の合計の％は100を超える

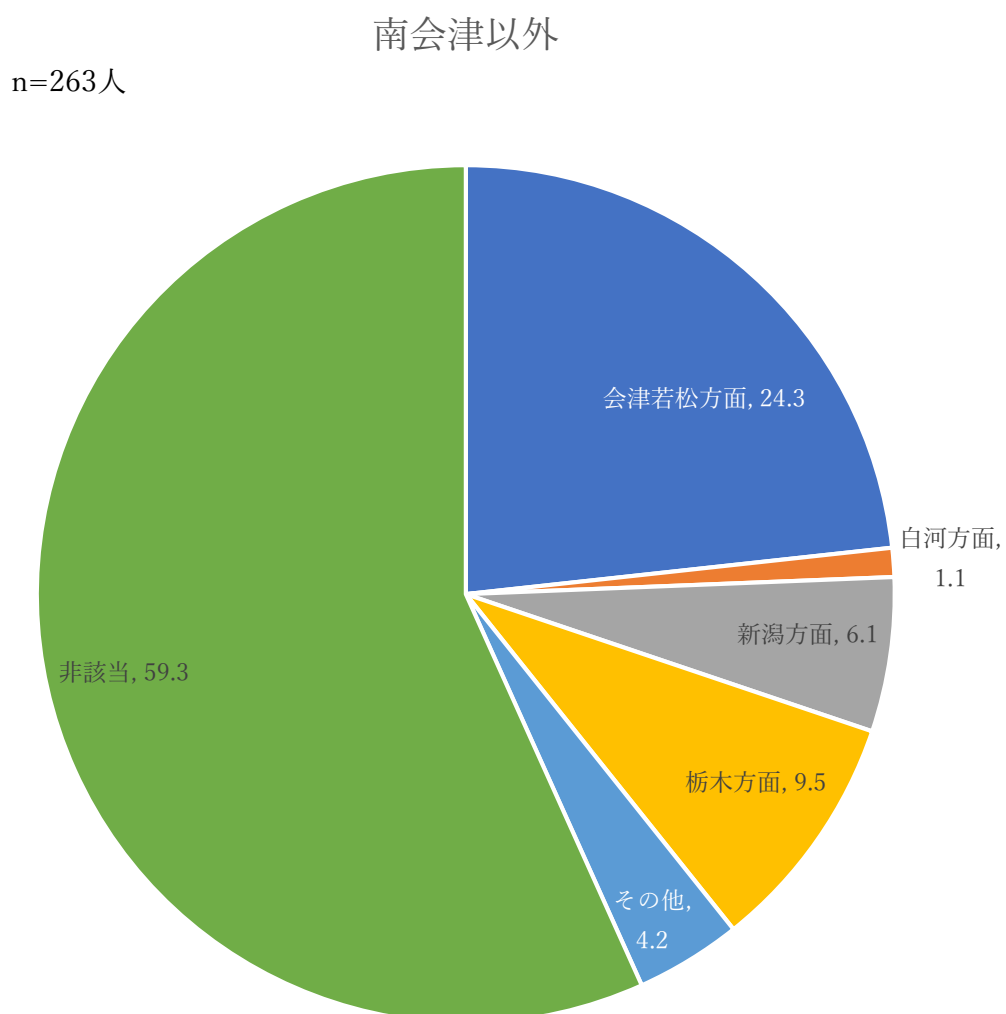
④ 南会津

南会津における訪問先で一番多いのは道の駅たじまで 36.9%となっている。
道の駅きさら 289 が次いで人気という結果となった。



⑤ 南会津以外

南会津以外では会津若松方面に訪問する回答者が 24.3%となっており、次いで多いのが栃木方面で 9.5%であった。



単位：％
※複数回答のため、各年代の合計の％は100を超える

4. 考察

調査結果から満足度や再来訪意欲の高さを考えると、認知度を向上させ新規の来訪者を増やすことにより、高い確率で南会津のファンになってもらえる可能性が高いと考える。

そのため、認知度向上と新規来訪者獲得のための施策に注力をするとともに、既に南会津のファンになっている層をコミュニティー化することにより、そのコミュニティーより南会津の良さが発信、拡散されることでさらにファンを獲得することが可能であると考ええる。

主なターゲットとしては基本的に関東を中心とする近隣県に住む人がメインとなる。60代以降の層の取り込みは引き続き行いつつ、友人や知人と訪れると答える回答者が多かった年配の層に関しては、その要望を持っている人々を取り込むプランの開発も1つの方法であると考ええる。

また若年層には新たな刺激となるようなアクティビティや名所の開発も効果的な可能性がある。中長期的な南会津のブランディングを考えると、若年層の取り込みは必須であるため、アールドメディア（SNS など）において、ターゲットのライフスタイルや価値観にあうインフルエンサーを活用し、南会津との心理的な繋がりや共感を醸成していく必要がある。

具体的には、SNS での情報発信を日々のルーティンとして行い、定期的な SNS イベントやインフルエンサー起用による発信が効果的であると考えられる。

これらの施策で南会津を認知させ、そのままファン化に発展させるためには、ファン組織の形成がベストである。

ファン組織形成は全国的にも拡大しつつあり、自治体や地域コミュニティーのファンクラブ・応援団・サポーターズクラブなどの形態で、ファン獲得を行っているところが多い。南会津地域でも同様の施策は実施可能であると考えられる。

南会津地域の満足度と再来訪意欲の高さは全国的に見ても優位性が高いため、すでに潜在的なファンが多く存在するので、ファンクラブ組織を形成し、彼らに特典等を与えることにより、より強固なリピーターへ発展を遂げていくことは推測できる。さらには、上記のような若年層獲得の施策を同時に行っていく、新規ファン獲得をファンクラブ組織が受け皿となることで、発信する情報が確実に会員の元へ届き、南会津の情報のタッチポイントがアップすることになる。

そこから得た情報を、彼らが南会津地域のセールスマンとして、口コミ、SNS での発信を行ってもらい、次へのステップに繋がっていくことが重要である。

※ファンクラブ組織については弊社でこれまでに2つの自治体のファンクラブ開設・運営を行ってきており、会員数1万人を突破したケースもある。
ファンクラブ組織の形成は、観光客誘致だけでなく、移住定住促進、ふるさと納税誘導でも効果を発揮していることは実績から言えることである。

今回の調査は南会津を実際に来訪した人が対象であったが、南会津に来ていない人のことも考えると、南会津の認知度や、観光地として検討する人はそこまで多くはないと考える。

そのためマスメディアを効果的に活用し、来訪者を満足させている自然、食べ物、お酒といった魅力をそれぞれの属性、価値観などの違う層に異なる見せ方で効果的に推し出し、まずは魅力を知ってもらうことが最初のステップとなる。

ペイドメディア（オンライン）においては、認知獲得に効果のある動画広告（YouTube 広告やアウトストリーム広告）やディスプレイ広告を活用し、PDCA を回しながら長期的に KPI をモニタリングし、徐々に認知を向上させていく方法が考えられる。

しかし、一旦南会津を知ってもらい来ってもらうことにより、南会津は観光地として更に人を取り込むことができるポテンシャルを備えていると考える。

5. 来年度に向けた改善事項（報告会の意見を経て）

（ア）追加質問項目

- ① 普段活用している情報収集経路を具体的に（例：SNS であればどの SNS を利用しているのか）
- ② 各設問における回答のあった季節（季節ごとの来訪者が異なるため）
 - 経年で調査をし、季節ごとの変化を知ること必要かと思われる
- ③ 南会津に来ている人は、他にどのような観光地に行っているか
 - 通常の人が観光に来る地域ではないと思っているという参加者の発言より、ニッチなニーズのある層が他にどのような地域を訪れるかのインサイトを得るため
- ④ ③以外の南会津に来るニッチな需要を持った層の特長を把握する設問

（イ）地域へのサポート要検討項目

- ① 人をより引き付けるための金銭的なサポート
 - 広告費等含め地方で活躍する人材をサポートするため
- ② 通信環境を含めたインフラの整備
- ③ 交通面でのサポート
 - 二次交通が不便という意見が多数あった
 - 檜枝岐村までに止まるバス停が多すぎるため、シャトルバスの検討も必要
 - 新幹線（那須塩原駅）で降りる人が多いが、栃木県と福島県を繋ぐ交通が欲しい
 - シェアカーやバスの利便性向上が重要となってくる